編集する

すでに使用してきた［見る］と［メニュー］を、ここでさらに使いこなします。次のような機能があります。

便利な再生

シーンに変更は加えずに、編集を行った後のように再生する方法です。以下のような機能があります。

- **日付ごとに選ぶ (P.66)**
  シーンを日付単位で再生する機能です。
  その日の最も早い時間から順に再生されます。
- **プレイリスト (P.67)**
  好みのシーンを集めてプレイリストとして保存し、再生する機能です。
  一度作成したプレイリストの中のシーンを選んで削除したり、逆に追加したりできます。
- **フェード (P.73)**
  動画シーンのフェードインやフェードアウトを設定できます。それぞれ 3 種類の効果があります。

シーンに変更を加える編集

- **シーンの削除 (P.71)**
- **動画シーンの 2 分割 (P.71)**
- **動画シーンの結合 (P.72)**

編集に役立つ機能

- **ジャンプ (P.74)**
  メディア内のすべてのシーンをとおしでカウントし、ジャンプさせる機能です。先頭シーン、最後のシーンへのジャンプが可能です。
- **情報表示 (P.75)**
  シーンを選んで、動画、静止画の録画した日時、画質（動画のみ）、録画時間（動画のみ）、設定した内容の確認ができます。
- **ロック (P.74)**
  カードのシーンをうっかり削除することのないように、シーンを選んでロックできます。(シーンをすべて選んでロックすることもできます。)
- **初期化 (P.76)**
  すべてのデータを削除したいときは、この機能が使えます。

ディスクナビゲーションから使うメニューについて

以下はディスクナビゲーション画面で [メニュー] を押して使う機能と、その機能が使えるメディアの一覧です。
本編「編集する」以外の機能もすべて記載されています。

できること	HDD	カード	内 容	参照先
シーンの編集	●	▲*	シーンの削除、結合、分割などができます。	P.71
シーンのロック		●	誤ってシーンを削除しないよう、各シーンをロックできます。	P.74
シーンの情報表示	●	●	1つ、または複数のシーンの画質や記録時間などの情報を表示します。	P.75
プレイリストの作成	●		シーンの組合わせを替えて、オリジナルムービーが作成できます。	P.68
初期化	●	●	HDD ／カードに記録したデータをすべて削除できます。	P.76
プロテクト	●		誤ってシーンを削除したり、HDD を初期化したりしないよう、プロテクトをかけることができます。	P.76
プロテクト解除	●		プロテクトを解除します。	P.76
残量表示	●	●	あとどのくらいの時間／枚数が撮影可能か表示します。	P.77
リピート再生	●		シーンの繰り返し再生ができます。	P.44
スライドショー		●	静止画の連続再生をします。	P.43

* 削除のみできます。

■ ディスクナビゲーション画面からのメニューの推移

ディスクナビゲーション画面で [メニュー] を押したあとの、メディア別の推移です。操作には、［◀◀］／［▶▶］／［▶▶|］／［|◀◀］などを使います。
「メニュー操作について」（P.45）をご覧ください。

HDD をお使いの場合

シーン	編集	削除 (P.71)
		分割 (P.71)
		結合 (P.72)
		フェード (P.73)
		プレイリスト作成*1 (P.68)
		並べ替え*2
	情報表示 (P.75)	
	ジャンプ (P.74)	先頭
		末尾
	選択 (P.37)	先頭からカーソル
		カーソルから末尾
		全て
日付／プレイリスト切替	全シーン	
	日付 (P.66)	
	プレイリスト (P.68)	

HDD 設定	初期化 (P.76)	
	プロテクト (P.76)	
	プロテクト解除 (P.76)	
	残量表示 (P.77)	
	管理情報更新 (P.124)	
	完全消去 (P.132)	
その他設定	リピート再生 (P.44)	オン
		オフ
	表示分類 (P.93)	全て
		ダビング済
		未ダビング
	マーク解除 (P.94)	

*1 プレイリストを表示しているときには表示されません。
*2 プレイリストを表示しているときに表示されます。

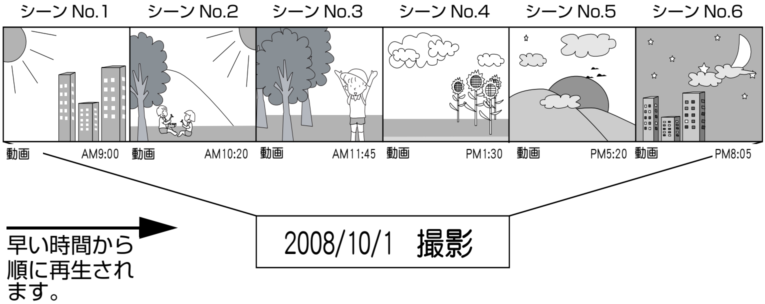
カード をお使いの場合

シーン	削除 (P.71)	
	ロック (P.74)	設定
		解除
	情報表示 (P.75)	
	ジャンプ (P.74)	先頭
		末尾
	選択 (P.37)	先頭からカーソル
		カーソルから末尾
		全て

日付切替	全シーン	
	日付 (P.66)	
カード設定	初期化 (P.76)	
	残量表示 (P.77)	
再生設定	スライドショー (P.43)	オン
		オフ

HDD カード

日付ごとに選ぶ



■ 日付ごとの表示に切り替える（日付）

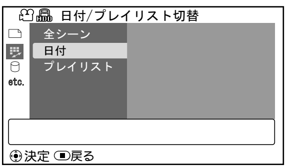
1 ［見る］を押してから、［メニュー］を押す

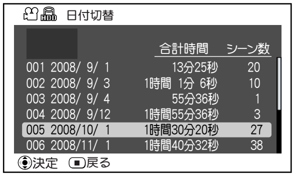
2 「日付／プレイリスト切替」（カードの場合は「日付切替」）▶「日付」▶［決定］を押す

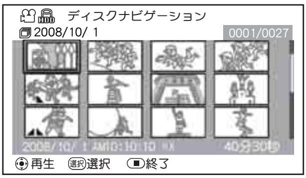
日付選択画面が表示されます。

3 表示したい日付を選び、［決定］を押す

選んだ日付のディスクナビゲーション画面が表示されます。







ヒント

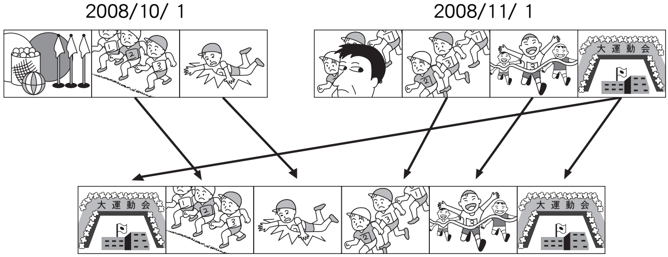
- 「日付切替」画面で［■］を押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
- 解像度の異なる動画画質に切り替えた場合や、他の機器で録画したディスクが入っているとき、撮影日ごとのまとまりになっていないことがあります。

HDD

プレイリスト

■ プレイリストとは?

録画したシーンの中からお好みのシーンを集めたリストのことです。
データをコピーして作るわけではありませんので、HDD 容量はほとんど使いません。また、プレイリストを削除しても実際の録画データは削除されません。(したがって容量も増えません。)



プレイリスト 1作成

プレイリストは No. 99 まで作成可能です。
ただし、No. 1 ～ No. 99 までのシーン総数は、最大 999 シーンです。

編集する

■ プレイリストを作成する（プレイリスト作成）

1 ［見る］を押す

2 プレイリストに登録したいシーンを選び、［メニュー］を押す
- 複数のシーンを選ぶこともできます。(P.37)

3 「シーン」▶「編集」▶「プレイリスト作成」▶［決定］を押す

4 選んだシーンに変更がなければ「はい」を選び、［決定］を押す
プレイリストを作成し、作成したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント
- 作成されたプレイリストは、シーンの情報としてのみ記録されます。プレイリストを作成したり、削除しても、元のシーンはなくなりません。また、プレイリストのシーンを編集しても、元のシーンには影響しません。
- シーンに「フェード設定」などの設定がある場合、その情報もプレイリストに加わります。
- 作成したプレイリストに別のシーンを追加したり、不要なシーンを削除することもできます (P.69)。
- プレイリストのタイトルは、「プレイリスト 1」「プレイリスト 2」のようにプレイリストと数字がタイトルになります。

ご注意
- HDDの残量が無くなると、プレイリストを作成できなくなることがあります。
- 異なる HD 動画画質を混在させてプレイリストを作成することはできません。

■ プレイリストごとの表示に切り替える（プレイリスト）

複数のプレイリストからお好みのものを選ぶと、ディスクナビゲーション画面が表示されます。

1 ［見る］を押してから、［メニュー］を押す

2 「日付／プレイリスト切替」▶「プレイリスト」▶［決定］を押す
プレイリスト選択画面が表示されます。

3 表示させたいプレイリストを選び、［決定］を押す
選んだプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント
全シーンのディスクナビゲーション画面に戻すときは、「日付／プレイリスト切替」▶「全シーン」を選んでください。

● プレイリストの内容を編集する

プレイリストの内容を編集するのは、シーンに設定する方法と同じです。それぞれの参照ページでご覧になり、設定してください。

シーンの分割..................P.71
シーンの削除..................P.71
シーンの結合..................P.72
シーンの並べ替え..........P.70
（プレイリストのみ）
フェード設定..................P.73

■ プレイリストにシーンを追加する（編集）

1 ［見る］を押してから、［メニュー］を押す

2 「日付／プレイリスト切替」▶「プレイリスト」▶［決定］を押す

プレイリスト切替画面が表示されます。

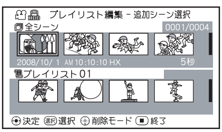
3 編集したいプレイリストを選び、［決定］を押す

対象となるプレイリスト画面が表示されます。

4 ［メニュー］を押してから、「プレイリスト」▶「編集」▶「決定」を押す

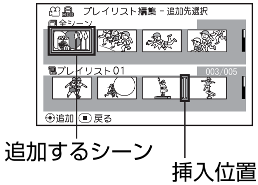
上段に追加できるシーンが表示され、下段に編集するプレイリストが表示されます。

5 ［◀◀ ／ ▶▶］で追加したいシーンを選び、［決定］を押す



- 複数のシーンを選ぶこともできます。(P.37)

6 カーソルが下段に移動するので、［◀◀ ／ ▶▶］で挿入位置を選ぶ



7 ［決定］を押す

- 他のシーンも追加する場合は、手順 5 ~ 6 を繰り返します。

8 ［■］を押す

終了確認画面が表示されます。

ヒント

設定の途中で編集を終了するには、［■］を押して、「はい」を選びます。「いいえ」を選ぶと「プレイリスト編集」画面に戻ります。

ご注意

HD 動画画質の異なるシーンの追加はできません。

■ プレイリストのシーンを削除する（編集）

1 ［見る］を押してから、［メニュー］を押す

2 「プレイリストにシーンを追加する（編集）」の手順 2 ~ 4 を行う

3 [▶▶|] で下のプレイリストにあわせ、[◀◀ ／ ▶▶] で削除したいシーン選ぶ
- 複数のシーンを選ぶこともできます (P.37)。

4 [決定] を押す
- 他のシーンも削除する場合は、手順 3 を繰り返します。

5 [■] を押す
終了確認画面が表示されます。

■ プレイリスト のシーンを並べ替える (編集)

1 [見る] を押してから、[メニュー] を押す

2 「日付／プレイリスト切替」▶「プレイリスト」▶ [決定] を押す
プレイリスト切替画面が表示されます。

3 編集したいプレイリストを選び、[決定] を押す
対象となるプレイリスト画面が表示されます。

4 移動したいシーンを選び、[メニュー] を押す
- 複数のシーンを選ぶこともできます。 (P.37)

5 「シーン」▶「編集」▶「並べ替え」▶ [決定] を押す

6 移動したい場所を選んで、[決定] を押す
確認画面が表示されます。

7 「はい」▶ [決定] を押す
並べ替え後は、プレイリストの表示画面に戻ります。
- 並べ替えをしない場合は、「いいえ」を選びます。

■ プレイリスト を削除する (削除)

作成したプレイリストを削除することができます。プレイリストを削除しても、元のシーンは削除されません。

1 [見る] を押してから、[メニュー] を押す

2 「日付／プレイリスト切替」▶「プレイリスト」▶ [決定] を押す
プレイリスト切替画面が表示されます。

3 編集したいプレイリストを選び、[決定] を押す
対象となるプレイリスト画面が表示されます。

4 [メニュー] を押してから、「プレイリスト」▶「削除」▶ [決定] を押す
削除後は、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
- 削除しない場合は [■] で戻ります。

ヒント
プレイリストを削除すると、プレイリスト番号は自動的に変更されます (例えば、No. 2 のプレイリストを削除すると、No. 3 のプレイリストが No. 2 のプレイリストになります)。

HDD カード

シーンを削除する（編集～削除）

いらないシーンを削除してみましょう。

1 [見る] を押す

2 削除したいシーンを選び、[メニュー] を押す
- 複数のシーンを選ぶこともできます。(P.37)

3
- HDD の場合
「シーン」▶「編集」▶「削除」▶ [決定] を押す
- カードの場合
「シーン」▶「削除」▶ [決定] を押す

確認画面が表示されます。

4 「はい」▶ [決定] を押す
シーンが削除され、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント
- ディスクナビゲーション画面で削除したいシーンにカーソルを合わせてから、リモコンの [削除] で「シーン削除」を実行できます。
- HDD の場合、1 つのシーンの中の不要な部分を削除するときは、不要な部分の前後でシーンを分割してから (P.71)、不要なシーンを削除します。

ご注意
- シーンの削除をしても削除部分の時間や枚数が少ない場合は、残量表示が増加しない場合があります。
- カードをご使用の場合、ロックされているシーンは削除できません (P.74)。
- HDD ／カードの中のすべてのデータを削除してもよい場合は、初期化してください。

HDD

動画を分割する（編集～分割）

シーンを 2 つに分割できます。
シーンの不要な部分を削除するときは、分割してから不要なほうを削除します。

1 [見る] を押す

2 分割したいシーンを選び、[メニュー] を押す

3 「シーン」▶「編集」▶「分割」▶ [決定] を押す
選択したシーンが再生されます。

4 分割したい位置になったら、[選択] を押す
確認画面が表示されます。

5 「はい」▶ [決定] を押す
2 分割され、ディスクナビゲーション選択画面に戻ります。
- 分割しない場合は 「いいえ」 を選びます。再生一時停止の画面に戻るので、[■] で終了します。

ヒント

- 分割位置を指定するときは、サーチやコマ送りを使うと便利です(P.42)。
- 分割前のシーンにフェード設定をしていた場合は、インの効果は前半のシーンに、アウトの効果は後半のシーンに引き継がれます (P.73)。
- 一度分割したシーンは、結合すると元のシーンに戻ります。

ご注意

- 分割時のコマ送り、スロー再生は正方向、逆方向ともに 0.5 秒ごとになります。
- 分割位置がシーンの先頭・末尾の場合、メッセージが表示され、指定できません。
- 記録時間が0.5秒以下の動画は分割できません。
- HDDの残量が無くなると、分割できなくなることがあります。この場合は、不要な映像を削除してください。
- ダビング済みマーク「☑」のついたシーンを分割すると、分割後、両方のシーンに「☑」が表示されます。

HDD

複数の動画を結合する (編集～結合)

短いシーンをたくさん撮ったときなど、一つにまとめると便利です。
結合するには、必ず連続している複数の動画を選択してください。
表示分類が「全て」の場合 (P.93) のみ結合できます。

1 [見る] を押す

2 **結合したいシーンを選び、[メニュー] を押す**
複数のシーンを選んでください (P.37)。単数シーンは結合できません。

3 **「シーン」▶「編集」▶「結合」▶ [決定] を押す**
確認画面が表示されます。

4 **「はい」を選び、[決定] を押す**
シーンを結合し、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント

フェード設定は、選択範囲の先頭のシーンのインの効果と、最終のシーンのアウトの効果が引き継がれます。

ご注意

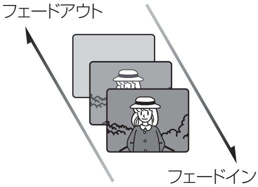
- 撮影した日が違うシーンの結合はできません。結合したい場合は、プレイリストを作成してください(P.68)。
- HD 動画画質の異なるシーンの結合はできません。
- ダビング済みマーク「☑」のついたシーン同士を結合した場合は、結合後のシーンに「☑」が表示されます。
- ダビング済みマーク「☑」のついたシーンとついていないシーンを結合した場合は、結合後のシーンに「☑」は表示されません。

HDD

シーンを効果的に演出する（編集～フェード）

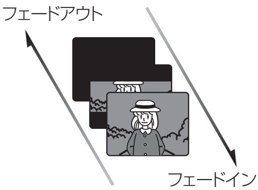
シーンの最初と最後にフェードを設定できます。
フェード設定は次の３種類です。

ホワイト



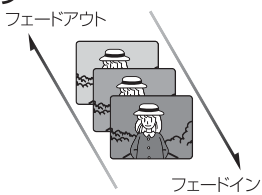
・白い画面からフェードイン
・白い画面へフェードアウト

ワイプ



・黒い画面から画面上下方向へフェードイン
・画面上下方向から黒い画面へフェードアウト

モノトーン



・白黒の画面からカラー画面へフェードイン
・カラー画面から白黒画面へフェードアウト

1 **[見る] を押す**

2 **設定したいシーンを選び、[メニュー] を押す**

- 複数のシーンを選ぶこともできます。(P.37)

3 **「シーン」▶「編集」▶「フェード」を選び、[決定] を押す**

「フェード設定」画面が表示されます。

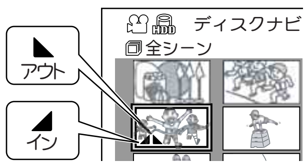
4 **「イン」と「アウト」の効果をそれぞれ選ぶ ▶「登録」▶ [決定] を押す**

メッセージ表示後に、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

- 「イン」「アウト」「登録／中止」は、[⏮ ／ ⏭] でカーソル位置が移動します。
- 「イン」と「アウト」の効果は、[◀◀ ／ ▶▶] で選び、[決定] で設定します。
- 設定しない場合は「中止」を選びます。
- 他のシーンにもフェード設定する場合、手順２～５を繰り返します。

5 **「はい」▶ [決定] を押す**

フェードイン、フェードアウトが設定されているシーンには、それぞれフェードアイコン「◢」「◣」が表示されます。



HDD カード

ジャンプ

最初に撮ったシーン、最後に撮ったシーンへカーソルを移動できる機能です。

1 [見る］を押してから、[メニュー] を押す

2 「シーン」▶「ジャンプ」▶「先頭」／「末尾」を選び、[決定] を押す

ディスクナビゲーション画面で、先頭または末尾のシーンにカーソルが移動します。

カード

カードのシーンをロックする

カードに録画してあるシーンを誤って削除したり、編集したりしないようにシーンごとにロックすることができます。

1 動画／静止画選択スイッチを「📷」にして電源を入れる (P.33)

2 [見る] を押す

3 ロックしたいシーンを選び、[メニュー] を押す

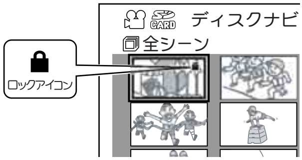
- 複数のシーンを選ぶこともできます。 (P.37)

4 「シーン」▶「ロック」▶「設定」を選び、[決定] を押す

確認画面が表示されます。

5 「はい」▶ [決定] を押す

ディスクナビゲーション画面に戻っても、ロックが設定されているシーンにはロックアイコン「🔒」が表示されます。



● ロック設定を解除するには

「カードのシーンをロックする」の手順 1 ～ 3 を行い、「シーン」▶「ロック」▶「解除」を選び、[決定] を押します。確認画面が表示されるので「はい」を選ぶと、ロックアイコン「🔒」が消え、ロックが解除されます。

ご注意

シーンにロックをかけていても、カードの初期化をすると削除されます。

HDD カード

シーンの情報を表示する（情報表示）

シーンの録画日時や録画時間、あるいは設定したフェード設定などの情報を表示できます。

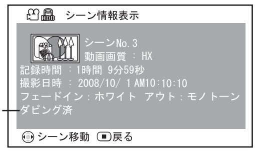
1 **[見る] を押す**

2 **情報を知りたいシーンを選び、[メニュー] を押す**

3 **「シーン」▶「情報表示」▶ [決定] を押す**

そのシーンの詳しい情報が表示されます。

HDD をお使いのとき



カードをお使いのとき



＊1 サムネイルに「☑」が表示されたシーンで表示されます。

＊2 DCF 準拠でない場合、表示されません。

- [▶▶] ／ [◀◀] を押すと、情報表示画面を表示させたまま、他のシーンの情報も続けて確認できます。

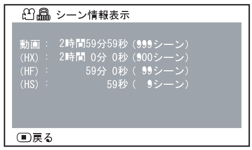
4 **[■] で終了**

ディスクナビゲーション画面が表示されます。

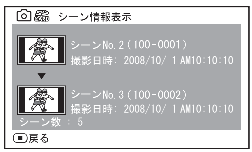
ヒント

- DCF（Design rule for Camera File system）とは、デジタルカメラの統一画像ファイルフォーマットです。DCF 対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。本機は DCF 準拠です。
- 任意の 1 シーンのみ表示されているときは、[▶▶] を押すと次のシーンの情報が表示され、[◀◀] を押すと前のシーンの情報が表示されます。
- 複数のシーンを選ぶと、シーンの合計録画時間（静止画の場合は合計枚数）が表示されます。

HDD をお使いのとき



カードをお使いのとき



HDD カード

HDD ／カードを初期化する（初期化）

あるメディアを初期化すると、そのメディアに録画したシーンは、すべて削除されます。
録画したシーンをすべて削除したいときはこの機能を使うと、シーンを選んで削除するよりも早く、便利です。

ご注意
初期化して消えたデータは取り戻せません。よく確認して初期化してください。

1 [見る] を押し、[メニュー] を押す
- SD メモリーカードを初期化するときは、本機にカードを入れてから、ボタンを押してください。

2 「HDD 設定」／「カード設定」 ▶「初期化」▶ [決定] を押す
初期化を確認する画面が表示されます。

3 「はい」▶ [決定] を押す
初期化が始まります。
- 初期化しないときは、「いいえ」を選んで、[決定] を押します。

ご注意
パソコンや他機で初期化したカードでは、本機で認識できない場合や録画・再生できない場合があります。

HDD

HDD をプロテクトする

誤った削除や初期化を防ぐために、プロテクトがかけられます。
ただし、プロテクトを設定すると、解除するまで録画もできなくなります。

1 [見る] を押し、[メニュー] を押す

2 「HDD 設定」▶「プロテクト」 ▶ [決定] を押す
プロテクトを確認する画面が表示されます。

3 「はい」▶ [決定] を押す
- プロテクトしないときは、「いいえ」を選んで、[決定] を押します。
- プロテクトを解除するときは、同じ手順を繰り返し、「プロテクト解除」を選んでください。

HDD カード

メディアにあとどのくらい録画できるか確かめる（残量表示）

動画の場合は、動画画質別 (P.60) の録画可能時間を確認できます。（選択可能な動画画質のみ表示されます。）

静止画の場合は、ワイドモード別 (P.60) の記録可能枚数を確認できます。

1 [見る] を押し、[メニュー] を押す

- SDメモリーカードの残量を確認するときは、本機にカードを入れてから、ボタンを押してください。

2 「HDD 設定」／「カード設定」 ▶「残量表示」▶ [決定] を押す

録画残量が表示されます。

3 確認が終わったら、[見る] を押すか、[■] を 2 回押す

録画一時停止に戻ります。

HDD カード

［カイケツガイド］使えます！（P.7）

テレビにつないで見る

■ テレビと接続する

ご使用のテレビの、接続する映像入力端子の種類により、接続方法が異なります。映像品質の良い順に接続方法を並べると、次のようになります。

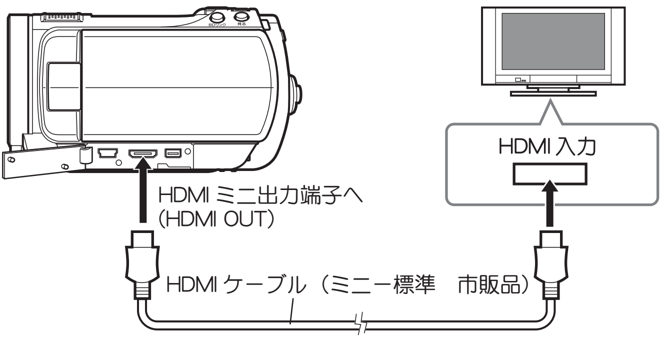
HDMI 端子 → D 映像端子 → S 映像端子 → 映像端子

ご注意

- 接続する前に、必ずテレビの音量を下げてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。
- 端子はまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むと、破損するおそれがあります。

テレビの HDMI 端子に接続する場合

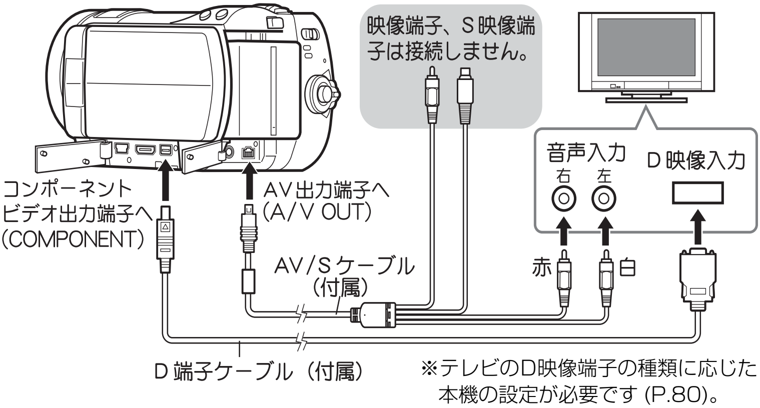
HDMI 端子接続を使うと、デジタル映像と音声の両信号を、1 本のケーブルで、高品質のままテレビに送ることができます。



ご注意

- 本機の HDMI ミニ出力端子からは 1080i 信号が出力されます。1080i 信号に対応していないテレビに接続すると、「映像を表示できません。接続端子を変えてください」と表示されます。このときに本機が記録／再生中だと、記録／再生が停止します。この場合、D 端子など他の方法で接続してください。（P.122「故障かな…と思ったら」をご覧ください）
- HDMI 接続の場合、再生時以外は本機から音声が出力されません。

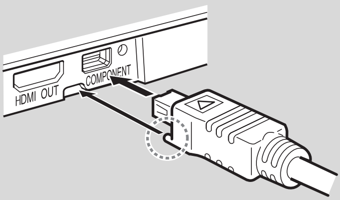
テレビの D 映像端子に接続する場合



※HDMI 出力端子には何も接続しないでください。

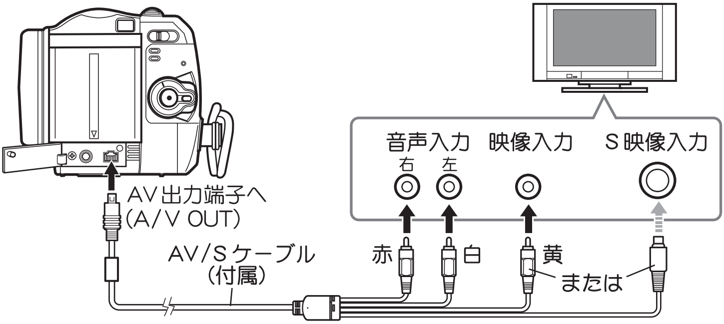
ご注意

D 端子ケーブルを本機につなぐときには、端子の向きにご注意ください。



他の機器で見る

テレビのＳ映像端子か、映像端子に接続する場合



※HDMI 出力端子とコンポーネントビデオ出力端子には何も接続しないでください。

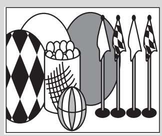
■ テレビに合わせて本機の出力設定をする（D 映像端子に接続したときのみ設定）

D 端子には、D4、D3、D2、D1 の 4 種類あります。本機の「コンポーネント出力設定」を、接続したテレビの D 端子の種類に合わせます。

1. 電源を入れ、液晶モニターを開いて [メニュー] を押します。
2. [◀◀] ／ [▶▶] を押して「出力機能設定」を選び、[▶▶] を押します。
3. 「コンポーネント出力設定」を選び、[▶▶] を押します。
4. [◀◀] ／ [▶▶] を押して、「D3(1080i)」(テレビが D3、D4 以上のとき) または「D1(480i)」(テレビが D1、D2 のとき) を選び、[決定] を押して決定します。

ご注意

ワイドテレビ以外のテレビ（画面比率 4：3）と本機をつないでご覧になるときは、映像が右記のように縦長に表示されます。



■ テレビで見る

❶ **テレビの電源を入れ、テレビの入力を、本機に接続した入力端子に切り替えます。**

テレビの入力の切り替えかたは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

❷ **本機の電源を入れます。**

本機の液晶モニターと同じ映像がテレビに表示され、再生や撮影、編集を、テレビの大画面を見ながら楽しめます。

HDMI 出力端子と他の映像端子を同時に接続した場合、HDMI 出力端子からのみ映像が出力されます。

コンポーネントビデオ出力端子と AV 出力端子を同時に接続した場合、コンポーネントビデオ出力端子からのみ映像が出力されます。

ヒント

- 音量はテレビで調整してください。
- テレビを見ながら操作するときはリモコンを使うと便利です。ただし、当社製の映像機器をお使いの場合は、本機のリモコンで動作することがあるので、その場合はリモコンコードを変更してください。

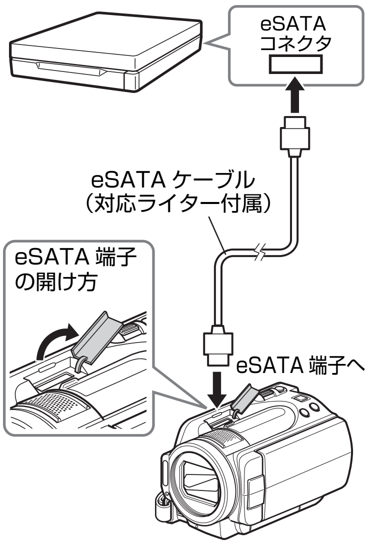
ご注意

- ワイドテレビ(画面比率16:9)をお使いで、テレビの設定がワイドモードに設定されているとき、ディスクナビゲーション画面を表示すると表示が画面に収まらない場合があります。テレビのワイドモードの設定を変更してください。(設定方法はテレビの取扱説明書をご覧ください。)
- 本機のメニュー画面やディスクナビゲーション画面を、テレビ画面に表示させたままにしないでください。テレビ画面に焼き付けなどの損傷を与える場合があります。

ライターとつないで使う

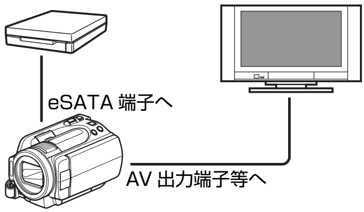
HDD

市販の対応ライター（ドライブ）とつないで、本機の HDD に録画した動画を BD-RE ／ BD-R ／ DVD-R にダビングすることができます。ダビングした BD-RE ／ BD-R ／ DVD-R の映像を本機で見ることもできます。



※ ケーブルを端子の奥まで差し込んでください。
※ 本機をライターの上に載せないでください。

本機をテレビとライターにつないで、ダビングした映像をテレビで見ることもできます。



BD ／ DVD にダビングする

本機の HDD に録画した動画を、BD-RE ／ BD-R ／ DVD-R にダビングできます。ダビングには次の 4 つの方法があります。

4 つのダビング方法

● 「はじめて」ダビング

HDD へ記録したシーンのうち、まだ BD ／ DVD にダビングしていないシーンを、先頭から順番にダビングします。

● 「ひにちで」ダビング

同じ日に HDD へ記録したシーンを先頭から順番にダビングします。

● 「まるごと」ダビング

HDD に記録したすべてのシーンを先頭から順番にダビングします。

● 「えらんで」ダビング

HDDに記録したシーンから、お気に入りのシーンだけを選んでダビングします。

ダビングに使えるメディア

	新品（未使用）	本機とライターで記録した			他機で記録した
		ファイナライズしていない	ファイナライズ済み	ファイナライズ解除	
12cm BD-RE	○	○	—	○	—
12cm BD-R	○	○	—	— *2	—
12cm DVD-R	○	— *1	—	— *2	—

※ お使いになれる BD-RE/BD-R/DVD-R のメーカー名や型番は限られる場合があります。推奨ディスク（動作確認済みディスク）についてはライターの梱包箱や取扱説明書、ライターの製造メーカーのホームページなどでご確認ください。

*1 本機とライターを使ってダビングした DVD-R は自動的にファイナライズされます。
*2 一度ファイナライズした BD-R/DVD-R は、ファイナライズ解除できません。

● 使えないディスクの例

12cm BD および 12cm DVD の 2 層ディスク、12cm DVD-RAM、12cm DVD-RW、12cm +RW、8cm ディスク、HD-DVD。

ダビングするときの画質

● BD にダビングする場合

HDD へ記録した画質のままダビングします。

● DVD にダビングする場合

- HD画質をSD画質に変換してダビングします。
- ダビングするときに、画質モードを選ぶことができます。

ダビングにかかる時間

● BD にダビングする場合

約 60 分のシーンをダビングするときの所要時間の目安は以下のとおりです。

画質モード	所要時間
HX	約 30 分
HF	約 22 分
HS	約 15 分

● DVD にダビングする場合

約 30 分のシーンをダビングするときの所要時間の目安は以下のとおりです。

画質モード	所要時間
SX ／ SF	約 1 時間

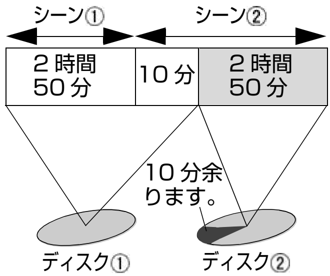
1 枚の BD-RE ／ BD-R ／ DVD-R に収まらないとき

1 枚の BD-RE ／ BD-R ／ DVD-R に収まらないときは、次の2つの方法でダビングできます。

● 自動分割あり

シーンの容量を自動的に計算して、シーンの途中であっても、1 枚のディスク内いっぱいまでダビングします。

例 :BD-RE ／ BD-R に HX モードでダビングしたとき

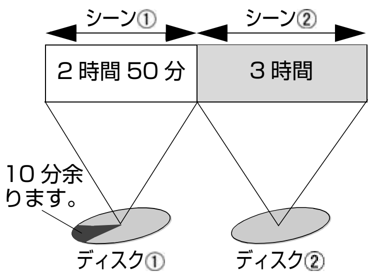


1 枚目のダビングが終了したときに、表示される交換の画面にしたがって BD-RE ／ BD-R ／ DVD-R を交換すると、2 枚目のダビングを開始します。すべてダビングするまで、交換の画面は表示されます。

● 自動分割なし

1 枚のディスク内に収まるシーンまでをダビングします。

例 :BD-RE ／ BD-R に HX モードでダビングしたとき



始める前に

- 録画可能な BD-RE ／ BD-R ／ DVD-R を準備してください。
- ダビングするときは必ず AC アダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使ってダビングはできません。
- ダビングの途中で電源が切れて中断すると、正しくダビングできません。
- 1回のダビング中に、BD-RE／BD-RとDVD-R両方のディスクへダビングすることはできません。複数のディスクにダビングする場合は、BD-RE ／ BD-R または DVD-R どちらかのディスクを複数用意してください。
- 1枚のBD-RE／BD-R／DVD-Rにダビングできるシーンの記録時間の目安については、「ディスクのダビング時間（ライター使用時）」(P.162) をご覧ください。
- 自動分割なしの場合は、1枚のBD-RE ／ BD-R ／ DVD-R に収まる長さ以上のシーンが含まれているとダビングできません。自動分割ありにするか、またはそのシーンを分割(P.71)してからダビングしてください。

ダビングするときのヒント

- ダビングできる最大のシーン数は、ダビングするディスクによって異なります。
- 一度ダビングしたシーンのサムネイルには、ダビング済マーク「☑」が表示されます。サムネイルが見づらいときは、「☑」を消すことができます (P.94)。(ただし、消すとダビングされていないことになります。)



- ダビング済マークのついたシーンだけをダビングしたいときは、HDD の「表示分類」をお使いになると便利です (P.93)。

プレイリスト (P.67) とダビングについて

- ライターでは、本機のディスクナビゲーション画面の表示順で BD-RE ／ BD-R ／ DVD-R へダビングされます。シーンの順番を変えてダビングする場合には、ダビングしたい順番でシーンを登録したプレイリストを作成し (P.68)、その後、ダビングしてください。
- プレイリスト上で異なる日付のシーンを結合し、BD-R ／ DVD-R にダビングした場合は、日付ごとに分かれてダビングされます。ただし、異なる日付のシーンを結合したあと、さらにシーン分割をしてからダビングした場合、日付ごとにシーンが分かれないことがあります。

編集で分割(P.71)、結合(P.72)したシーン、フェード効果(P.73)とダビングについて

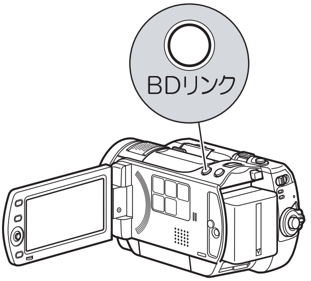
- 編集機能を使って結合したシーンをDVD-Rにダビングした場合､結合する前のそれぞれのシーンに分かれてダビングされます。
- HDDのフェード効果は、BD-R／DVD-Rにダビングした場合、反映されません。

ダビングするときのご注意

- ライターでダビングしたBD-RをBD レコーダーなどで再生するときは、必ずライターを使ってファイナライズしてください。
- ライターのUSB端子に他の機器を接続しないでください。また、本機のUSB端子に他の機器を接続しないでください。
- ダビング中、ディスクナビゲーション画面表示中など、本機とライターを eSATA ケーブルでつないで使用しているときには、ケーブルを抜き差ししないでください。
- DVD-Rの場合、1シーンの長さがSXモードで約30分、SFモードで約1時間を超えるシーンをダビングすると、複数のシーンに分かれてダビングされます。
- DVD-Rの場合、1枚のディスクにダビングできるのは、99シーンまでです。
- ダビング開始後からダビング中に表示される残り時間はめやすです。シーン数が多かったり、温度が高いときには、画面の表示より時間がかかることがあります。
- 本機の不具合などにより、ダビングが正常にできなかった場合の内容（データ）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ダビングしたディスクが正しく再生できるかを確認してから、HDDのシーンを削除することをおすすめします。

まだダビングしていないシーンをダビングする（はじめてダビング）

HDDへ記録した、まだBD-RE／BD-R ／ DVD-R にダビングしていないシーンをダビングします。



1 本機とライターを eSATA ケーブルでつなぐ

- 本機とライターの両方の電源を切った状態で接続してください。
- USB ケーブルでの接続はできません。
- ライター背面などに SimpleDisk モード切替スイッチがついている場合には、「ノーマル」側になっていることを確認してください。

2 本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.26)

- バッテリーパックでは、ダビングできません。
- ライターの電源も接続してください。

3 ライターの電源を入れる

「ON」に合わせてください。

4 ダビングするディスクをライターに入れる

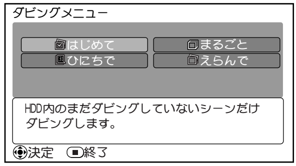
5 動画／静止画選択スイッチを「 」に合わせて、本機の電源を入れる

6 本機の [BD リンク] を押す

BD リンクメニュー画面が表示されます。

7 「ダビング」を選ぶ

「ダビングメニュー」が表示されます。



8 「はじめて」を選び、[決定] を押す

9 「BD」または「DVD」を選び、[決定] を押す

- DVD-R の場合、「SX」または「SF」の画質モードを選び、[決定] を押す
- ディスクが 2 枚以上必要な場合 →手順 10 へ
- ディスクが 1 枚で収まる場合→手順 11 へ
- 初期化のメッセージが表示されたときは、「はい」を選んでディスクを初期化してください。

10 「自動分割あり」または「自動分割なし」を選び、[決定] を押す

11 **ファイナライズの画面を確認する**

ディスクが BD-R のときは、 ダビング後にファイナライズするかしないかを選びます。
する場合は「はい」、 しない場合は「いいえ」を選んでください。
（DVD-R のときは、 ダビング後に自動的にファイナライズします。）

ライターから取り出した BD-R を BD プレーヤーなどで再生する前に → **「ファイナライズ」してください。(P.96)**

12 **「ダビング実行」を選び、[決定] を押す**

ダビングを開始します。

13 **ディスクを交換する**

1 枚のディスクに収まらないときは、ディスク交換の確認画面が表示されます。ディスクを交換してください。

14 **ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する**

「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。
ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

15 **ディスクを取り出す**

- [■] で、 終了します。

16 **本機とライターの電源を切る**

17 **eSATA ケーブルを外す**

ヒント

- 一度ダビングしたシーンを「はじめてダビング」でダビングするには、ダビング済マークを解除してください。(P.94)
- BD-RE／BD-Rへダビング中に[■]を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び［決定］を押してください。ダビングを中止します。
- DVD-R は、ダビングの中断はできません。

ご注意

ダビング中は、ライターに本機以外の機器を接続しないでください。ディスクが使えなくなるおそれがあります。

同じ日に撮影したシーンをまとめてダビングする (ひにちでダビング)

HDD へ同じ日に記録したシーンをまとめてディスクにダビングすることができます。

1 **本機とライターを eSATA ケーブルでつなぐ**
- 本機とライターの両方の電源を切った状態で接続してください。
- USB ケーブルでの接続はできません。
- ライター背面などに SimpleDisk モード切替スイッチがついている場合には、「ノーマル」側になっていることを確認してください。

2 **本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.26)**
- バッテリーパックでは、ダビングできません。
- ライターの電源も接続してください。

3 **ライターの電源を入れる**
「ON」に合わせてください。

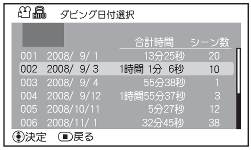
4 **ダビングするディスクをライターに入れる**

5 **動画／静止画選択スイッチを「 」に合わせて、本機の電源を入れる**

6 **本機の [BD リンク] を押す**
BD リンクメニュー画面が表示されます。

7 **「ダビング」を選ぶ**
「ダビングメニュー」が表示されます。

8 **「ひにちで」を選び、[決定] を押す**
「ダビング日付選択」画面が表示されます。



9 **ダビングしたい日付を選び、[決定] を押す**

10 **「BD」または「DVD」を選び、[決定] を押す**
- DVD-R の場合、「SX」または「SF」の画質モードを選び、[決定] を押す
- ディスクが 2 枚以上必要な場合 →手順 11 へ
- ディスクが 1 枚で収まる場合→手順 12 へ
- 初期化のメッセージが表示されたときは、「はい」を選んでディスクを初期化してください。

11 **「自動分割あり」または「自動分割なし」を選び、[決定] を押す**

12 **ファイナライズの画面を確認する**
ディスクが BD-R のときは、ダビング後にファイナライズするかしないかを選びます。
する場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選んでください。
（DVD-R のときは、ダビング後に自動的にファイナライズします。）

ライターから取り出した BD-R を BD プレーヤーなどで再生する前に →
「ファイナライズ」してください。(P.96)

13 「ダビング実行」を選び、[決定] を押す

ダビングを開始します。

14 ディスクを交換する

1 枚のディスクに収まらないときは、ディスク交換の確認画面が表示されます。ディスクを交換してください。

15 ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する

「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。
ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

16 ディスクを取り出す

- [■] で、 終了します。

17 本機とライターの電源を切る

18 eSATA ケーブルを外す

ヒント

- BD-RE／BD-Rへダビング中に[■] を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び［決定］を押してください。ダビングを中止します。
- DVD-R は、ダビングの中断はできません。

ご注意

ダビング中は、ライターに本機以外の機器を接続しないでください。ディスクが使えなくなるおそれがあります。

HDD に記録したすべてのシーンをダビングする (まるごとダビング)

HDD に記録したすべてのシーンを先頭から順番にディスクへダビングできます。

1 本機とライターを eSATA ケーブルでつなぐ

- 本機とライターの両方の電源を切った状態で接続してください。
- USB ケーブルでの接続はできません。
- ライター背面などに SimpleDisk モード切替スイッチがついている場合には、「ノーマル」側になっていることを確認してください。

2 本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.26)

- バッテリーパックでは、 ダビングできません。
- ライターの電源も接続してください。

3 ライターの電源を入れる

「ON」に合わせてください。

4 ダビングするディスクをライターに入れる

5 動画／静止画選択スイッチを「 」に合わせて、本機の電源を入れる

6 本機の [BD リンク] を押す

BD リンクメニュー画面が表示されます。

7 「ダビング」を選ぶ

「ダビングメニュー」が表示されます。

8 「まるごと」を選び、[決定] を押す

9

「BD」または「DVD」を選び、[決定] を押す

- DVD-Rの場合、「SX」または「SF」の画質モードを選び、[決定] を押す
- ディスクが 2 枚以上必要な場合 →手順 10 へ
- ディスクが 1 枚で収まる場合→手順 11 へ
- 初期化のメッセージが表示されたときは、「はい」を選んでディスクを初期化してください。

10

「自動分割あり」または「自動分割なし」を選び、[決定] を押す

11

ファイナライズの画面を確認する

ディスクが BD-R のときは、ダビング後にファイナライズするかしないかを選びます。
する場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選んでください。
（DVD-R のときは、ダビング後に自動的にファイナライズします。）

ライターから取り出した BD-R を BD プレーヤーなどで再生する前に →
「ファイナライズ」してください。(P.96)

12

「ダビング実行」を選び、[決定] を押す

ダビングを開始します。

13

ディスクを交換する

1 枚のディスクに収まらないときは、ディスク交換の確認画面が表示されます。ディスクを交換してください。

14

ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する

「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。
ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

15

ディスクを取り出す

- [■] で、終了します。

16

本機とライターの電源を切る

17

eSATA ケーブルを外す

ヒント

- BD-RE／BD-Rへダビング中に[■]を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び［決定］を押してください。ダビングを中止します。
- DVD-R は、ダビングの中断はできません。

ご注意

ダビング中は、ライターに本機以外の機器を接続しないでください。ディスクが使えなくなるおそれがあります。

HDD に記録したシーンを選んでダビングする（えらんでダビング）

HDD に記録したシーンを選択して、お気に入りのシーンだけをディスクにダビングすることができます。

1 本機とライターを eSATA ケーブルでつなぐ
- 本機とライターの両方の電源を切った状態で接続してください。
- USB ケーブルでの接続はできません。
- ライター背面などに SimpleDisk モード切替スイッチがついている場合には、「ノーマル」側になっていることを確認してください。

2 本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.26)
- バッテリーパックでは、ダビングできません。
- ライターの電源も接続してください。

3 ライターの電源を入れる

「ON」に合わせてください。

4 ダビングするディスクをライターに入れる

5 動画／静止画選択スイッチを「🎥」に合わせて、本機の電源を入れる

6 本機の [BD リンク] を押す

BD リンクメニュー画面が表示されます。

7 「ダビング」を選ぶ

「ダビングメニュー」が表示されます。

8 「えらんで」を選び、[決定] を押す

9 「BD」または「DVD」を選び、[決定] を押す
- DVD-Rの場合、「SX」または「SF」の画質モードを選び、[決定] を押す
- 初期化のメッセージが表示されたときは、「はい」を選んでディスクを初期化してください。

10 「自動分割あり」または「自動分割なし」を選び、[決定] を押す

11 ファイナライズの画面を確認する

ディスクが BD-R のときは、ダビング後にファイナライズするかしないかを選びます。

する場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選んでください。

（DVD-R のときは、ダビング後に自動的にファイナライズします。）

ライターから取り出した BD-R を BD プレーヤーなどで再生する前に →
「ファイナライズ」してください。(P.96)

12 ダビングしたいシーンを [選択] で選び、[決定] を押す



この手順を繰り返して複数のシーンを選ぶことができます。

13 「ダビング実行」を選び、[決定] を押す

ダビングを開始します。

14	**ディスクを交換する** 1 枚のディスクに収まらないときは、ディスク交換の確認画面が表示されます。ディスクを交換してください。
15	**ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する** 「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。 ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。
16	**ディスクを取り出す** • [■] で、 終了します。
17	**本機とライターの電源を切る**
18	**eSATA ケーブルを外す**

ヒント

- BD-RE／BD-Rへダビング中に[■]を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び［決定］を押してください。ダビングを中止します。
- DVD-R は、ダビングの中断はできません。

ご注意

ダビング中は、ライターに本機以外の機器を接続しないでください。ディスクが使えなくなるおそれがあります。

ダビング済／未ダビングのシーンを一覧する（表示分類）

HDD に記録したシーンを、ディスクにダビングしたシーンと、まだダビングしていないシーンとに分けて、ディスクナビゲーション画面に表示します。

表示分類の設定

全て

ダビングしたかどうかに関係なく、撮影順にすべて表示します。

ダビング済

ダビング済マーク「☑」のついたシーンを撮影順に表示します。
設定後のディスクナビゲーションの右上に「  」と表示します。

未ダビング

ダビング済マーク「☑」のついていないシーンを撮影順に表示します。
設定後のディスクナビゲーションの右上に「  」と表示します。

「表示分類」を設定する

1	**[見る] を押してから、[メニュー] を押す**
2	**「その他設定」▶「表示分類」▶表示分類の設定を選ぶ**
3	**[決定] を押す** • ディスクナビゲーション画面を終了すると、「全て」に戻ります。

ダビング済みのシーンを、はじめてダビングできるようにする（マーク解除）

1 度ダビングしたシーンでも、ダビング済みマーク「☑」を解除すれば、はじめてダビングできるようになります。

ダビング済みマーク「☑」解除のしかた

1 [見る] を押す

2 ダビング済マークを消したいシーンにカーソルを合わせ、[選択] を押してから、[メニュー] を押す
- 複数のシーンを選択できます。

3 「その他設定」▶「マーク解除」▶[決定] で決定
確認画面が表示されます。



4 「はい」を選び、[決定] で決定後、[■] で終了

HDD BD-RE BD-R R

ライター接続時にできること

ダビング		
	はじめて (P.87)	
	ひにちで (P.89)	
	まるごと (P.90)	
	えらんで (P.92)	
ディスク管理		
	初期化 (P.97)	
	ファイナライズ (P.96)	
	ファイナライズ解除 (P.96)	
再生		
	ディスクナビゲーション画面表示中に[メニュー]	情報表示 (P.75)
		ジャンプ (P.74)
		選択 (P.37)
		日付切替 (P.66)
		残量表示 (P.77)
		リピート再生 (P.44)
	再生中に[メニュー]	ジャンプ (P.38)
		静止画キャプチャー (P.43)

BD-RE BD-R R

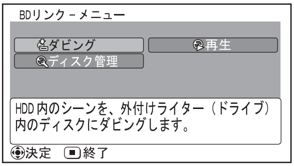
ダビングしたＢＤ／ＤＶＤを見る

1 **本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.26)**
バッテリーパックでは再生できません。

2 **本機とライターを eSATA ケーブルで接続してから、本機とライターの電源を入れる**

3 **ダビングしたディスクをライターに入れる**

4 **本機の [BD リンク] を押す**
BD リンクメニュー画面が表示されます。



5 **「再生」を選ぶ**
ディスクナビゲーション画面が表示されます。

6 **再生したいシーンにカーソルを合わせ、再生する**

ご注意

再生中に、本機以外の機器をライターに接続しないでください。接続すると、エラーメッセージが表示され、再生が中断されます。本機とライターの電源をいったん切ってから、再生しなおしてください。このとき、本機の電源が切れるまでに時間がかかる場合があります。

● メニュー

ディスクナビゲーション画面、または再生中に［ メニュー ］を押すと、メニューが表示されます。
操作方法は、参照ページをご覧ください。

【ディスクナビゲーション画面】

・情報表示 P.75
・ジャンプ P.74
・選択 P.37
・日付切替 P.66
・残量表示 P.77
・リピート再生..............P.44

【再生中】

・ジャンプ P.38
・静止画キャプチャー ...P.43

● 再生モードを終了するには

1 **ディスクナビゲーション画面で、[■] または [BD リンク] を押す**
録画一時停止に戻ります。

BD-RE BD-R

ファイナライズする

始める前に

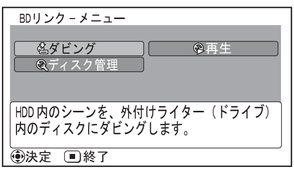
ライターでダビングしたBD-RをBDプレーヤーなどで再生する場合、「ファイナライズ」という操作が必要です。
また、BD-REは、BDプレーヤーなどで再生するとき、BDメニューを表示させたい場合にファイナライズしてください。
一度ファイナライズしたBD-Rにはダビングができませんので、ご注意ください。BD-REは、ファイナライズするとダビングができなくなりますが、ファイナライズの解除をすると、またダビングができるようになります。

1 **本機とライターをeSATAケーブルでつなぐ**

2 **本機にACアダプター／チャージャーを接続する (P.26)**
バッテリーパックでは、 ファイナライズできません。

3 **ダビングしたディスクをライターに入れる**

4 **本機の[BD リンク]を押す**
BDリンクメニュー画面が表示されます。



5 **BDリンクメニュー画面の「ディスク管理」を選ぶ**

6 **「ファイナライズ」を選ぶ**
ファイナライズを開始します。

BD-RE

ファイナライズを解除する

ライターでファイナライズしたBD-REのファイナライズを解除すると、もう一度記録できるようになります。

1 **本機とライターをeSATAケーブルでつなぐ**

2 **本機でファイナライズしたディスクをライターに入れる**

3 **本機の[BD リンク]を押す**
BDリンクメニュー画面が表示されます。

4 **BDリンクメニュー画面の「ディスク管理」を選ぶ**

5 **「ファイナライズ解除」を選ぶ**

BD-RE

ディスクを初期化する

ディスクを初期化します。
初期化すると、ディスクにダビングしたシーンは、すべて削除されます。

ご注意
初期化して消えたデータは取り戻せません。よく確認して初期化してください。

1 本機とライターをケーブルでつなぐ

2 本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.26)
バッテリーパックでは初期化できません。

3 ライターにディスクを入れる

4 本機の [BD リンク] を押す
BD リンクメニュー画面が表示されます。

5 BD リンクメニュー画面の「ディスク管理」を選ぶ

6 「初期化」を選ぶ
初期化が始まります。

ご注意
- 傷や汚れの多い BD-RE は初期化できない場合があります。このような BD-RE は使用できません。
- パソコンや他機で初期化した BD-RE ／ BD-R ／ DVD-R は、ライターで認識できない場合があります。
- 初期化途中で電源が切れると正しく初期化できません。
  正しく初期化できなかった BD-RE は使えなくなります。

同梱のソフト ウェアについて

本機に同梱の USB ケーブルとソフトウェア CD-ROM をお使いになると、本機で撮影した動画や静止画をパソコンでご利用いただけます。
同梱の CD-ROM には Windows 用のソフトウェアが含まれています。

ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI

本機で撮影した映像をパソコンに取り込み、映像の再生や映像ライブラリーの作成ができます。
また、パソコンのドライブを使用して、パソコンに取り込んだ映像をハイビジョン画質のままお楽しみいただける BD や、他の DVD 機器で再生できるDVD-Video(DVD-RW/DVD-R)、DVD-VR（DVD-RAM/DVD-RW）を作成できます。

ご注意

- 対応ライターで作成した BD-R の映像をパソコンに取り込む場合、ライターでのファイナライズが必要です(P.96)。
- ディスクの作成には、それぞれのディスクの書き込みに対応したパソコンのドライブが必要になります。
- 本機に同梱のソフトウェアは AACS 、CPRM や CSS などの著作権保護されたディスクを使用できません。
- 本機に同梱のソフトウェアで作成したディスクは、それぞれのディスクに対応した機器で再生できますが、すべての機器での再生を保証するものではありません。再生機器やディスクの状態により、再生できない場合があります。
- 本機に同梱のソフトウェアでは、本機の HDD への書き込みはできません。

同梱のソフトウェアは日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語（簡体字）に対応しています。

本書では、Windows XP 使用時の画面で説明しています。

ソフトウェア CD-ROM を開封する前に、P.167 の「使用許諾契約書」をお読みください。

使用できるパソコンの条件

OS	Windows® XP HomeEdition SP2 ／ Windows® XP Professional SP2 ／ Windows Vista® （32bit 版） ※64bit 版は除きます。 ※本ソフトウェアのご利用には管理者権限（Administrator）でログインしている必要があります。
コンピュータ	上記 OS がプリインストールされた IBM® PC/AT® 互換機
CPU	Intel® Pentium® D 2.8GHz 以上 Intel® Core 2 Duo 1.66GHz 以上 (Intel® Core 2 Duo 2.66GHz 以上を推奨) ※CPU などをオーバークロックなどでご使用の場合は動作保証外になります。
メモリ	• 512MB 以上 (1GB 以上を推奨)
HDD	• インストールに必要なディスク容量：300MB 以上 • DVD 作成時には、作成するディスクの約３倍以上の空き領域が必要です。 • BD作成時には､作成するディスクの約2倍以上の空き領域が必要です。
USB	本製品のために、USB1.1 または 2.0 の空きポートが必要です。 （USB ハブ経由では動作しない場合があります。）
その他	• 1024x768 ピクセル、16bit(High color) 以上で表示可能なディスプレイ • DirectX® 9.0c 以降に対応したビデオデバイス (PCI Express x16 に対応したビデオデバイスを推奨) • Direct Sound 対応のサウンドカード • ディスクの読み込みや作成には、それぞれのディスクに対応したパソコンのドライブが必要になります。

ご注意

- 同梱のソフトウェアは、MacOS には対応していません。
- 推奨環境を満たしているパソコンの場合でも、ハイビジョン画質の映像がなめらかに再生されない場合があります。また、ハイビジョン画質の映像編集は、長時間かかることがあります。
- 使用できるパソコンの条件を満たしていても、お使いの他のソフトウェアや機器との組合わせにより、動作に不具合が生じたり、使用制限が生じたりすることがあります。
- 自作パソコンで使用した場合は動作保証しません。

■ ソフトウェアのインストール

パソコンのOSによってインストールの内容や手順が異なります。

1 **パソコンの電源を入れる**

コンピュータの管理者権限でログオンしてください。
パソコンを使用している場合には、使用しているソフトウェアをすべて終了してください。

2 **同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる**

ソフトウェアのインストーラーが自動的に起動し、「設定言語の選択」画面が自動的に表示されます。
「設定言語の選択」画面が表示されない場合は、WindowsのマイコンピュータまたはエクスプローラでCD-ROMが入っているドライブを開き、「」をダブルクリックしてください（ご使用のPCによっては、「exe」の拡張子が表示されない場合があります）。

3 **インストールで使用する言語を選択する**

ご使用になる言語を選択し、「次へ」をクリックしてください。



クリック

4 **「ImageMixer 3 HD Edition」のインストール画面が表示されるので、「次へ」をクリックする。**



クリック

5 **使用許諾契約を確認する**

使用許諾契約をよくお読みいただき、同意いただく場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



クリック

6 **インストール先を選択する**

インストール先に変更がなければ、「次へ」をクリックしてください。
インストール先に変更がある場合には、「変更」をクリックし、インストール先を指定してから「次へ」をクリックしてください。



クリック

7

ビデオ方式を選択する

ビデオ方式の設定画面が表示されるので、「NTSC」 を選択してください。



クリック

8

インストールを実行する

インストールの準備が完了しましたので、「インストール」 をクリックしてインストールを実行してください。



クリック

9

インストールが終了した後にメッセージが表示されるので、「完了」 をクリックしてパソコンを再起動する

以上でソフトウェアのインストールは完了です。



クリック

ご注意

ソフトウェアのインストール完了後、お使いのパソコンによっては、DirectX® のインストールが始まることがあります。その場合は、画面表示にしたがって、インストールしてください。

■ 本機とパソコンのつなぎかた

❶ 本機の電源を入れる

本機とパソコンをつなぐ場合には、AC アダプター / チャージャーで本機をお使いください。

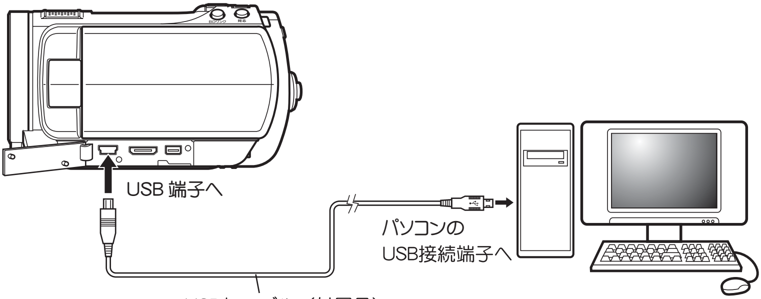
❷ パソコンに接続するメディア(「HDD」/「SD カード」)を選ぶ

パソコンとの接続前に本機で選択しているメディアが、パソコンとの接続時にアクセスできます。

本機の動画 / 静止画選択スイッチを使って、パソコンでアクセスしたいメディアに切り替えてください。

❸ USB ケーブルでパソコンと本機を接続する

付属の USB ケーブルを使って、本機とパソコンを以下のように接続します。



本機とパソコンを USB ケーブルで接続すると、本機の液晶モニターが消え、パソコン接続が開始されます。

本機はパソコンから自動的に認識されます。なお、認識後にパソコンの再起動を要求されることがありますが、その場合は指示にしたがい、再起動してください。

ご注意

- パソコンと接続する場合は、カメラの電源を入れてください。
- HDD、SD メモリーカードへの同時アクセスはできません。
- パソコン接続中のメディアの切り替えはできません。USBケーブルをパソコンから取り外してから(P.104)、メディアを切り替えてください。
- パソコン接続中は本機の操作ボタンはすべて使えません。
- HDD にアクセスしているときは、アクセスランプが赤色に点滅します。
- SD メモリーカードにアクセスしているとき、カードアクセスランプは点滅しません。
- パソコンと接続するときの注意事項は P.112 をご参照ください。
- 本機は Macintosh に接続できません。

本機のパソコンでの表示について

本機の動画／静止画選択スイッチを「 」にしてパソコンに接続した場合、ディスクドライブとして認識されます。

本機の動画／静止画選択スイッチを「 」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識されます。

ご注意

HDD に記録されているファイルは、エクスプローラで直接取り扱わないでください。お客様の貴重な映像が失われ、メディアが壊れて使用できなくなる可能性があります。同梱のソフトウェアをお使いください。

■ パソコン接続中の SD メモリーカードの取り出しかた

本機に入っているカードは本機の電源を切ったり接続を外したりせずに、入れ替えられます。
SD メモリーカードがパソコンのソフトウェアからアクセスされていないことを確認して、SD メモリーカードを本機より取り出します。

■ パソコン内蔵のドライブでディスクを使用する

使用するディスクに対応したドライブの付いたパソコンをお持ちの場合は、対応ライターで作成したディスクを使用できます。
それぞれのディスクに対応したドライブをご使用ください。

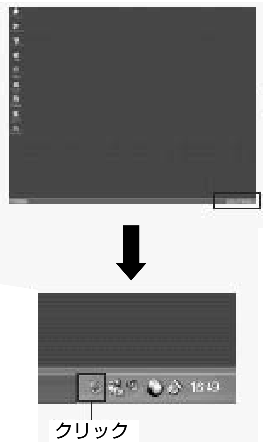
ご注意

- パソコンのドライブを使用して、対応ライターで作成した BD-R の映像をパソコンに取り込む場合、ライターでのファイナライズが必要です (P.96)。
- 縦置きやスロットインタイプのパソコン用ドライブの中には 8cm ディスクが使用できないものがあります。
- 8cm CD を 12cm の直径に変換するアダプタ（8cm CD 用）は 8cm BD と 8cm DVD には使用できません。パソコンの 8cm ディスク対応のドライブをご使用ください。
- ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI は、1997 年以降に製造、販売されたドライブに対応しておりますが、全てのドライブの動作を保証するものではありません。

■ PC 接続の終了（USB ケーブルの取り外し）・電源スイッチを切り替える前に

1 **USB ケーブルをパソコンから外す**

アプリケーションを終了し、Windows 画面の右下のタスクトレイから「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックしてください。



2 **「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択する**

ドライブ名（F: など）はお使いのパソコンにより異なります。



3 **「ハードウェアの取り外し」のメッセージが表示される**

USB ケーブルを外してください

※「ハードウェアの取り外し」がエラーになってしまう場合は、Windows を一旦終了してから取り外してください。

ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI の使い方

ImageMixer 3 HD Edition for HITACHIを起動するには、インストール時にデスクトップに作成される ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI のショートカットをダブルクリックしてください。

※デスクトップに ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI のショートカットがない場合には、[スタート]→[プログラム]または[すべてのプログラム]→[PIXELA]→[ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI]→[ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI] を選択してください。

ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI の詳しい使いかたは、パソコンで閲覧できる電子取扱説明書をご確認ください。ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI 起動中に「ヘルプ (H)」→「ImageMixer ヘルプ (H) F1」をクリックすると表示されます。

本機で撮影した映像をパソコンに取り込んで再生する

ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI は、本機で撮影した動画や静止画をパソコンに取り込んで再生できます。

1 本機の電源を入れ、本機とパソコンを USB 接続する

パソコンに取り込みたい映像が記録されているメディアのモードで、 本機をパソコンに USB 接続してください (P.102)。

2 ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI を起動する

3 日立ハードディスクカム※1 を選択する

画面左部に表示されている 「日立ハードディスクカム※1」 をクリックすると、 記録されている映像がサムネイルで表示されます。

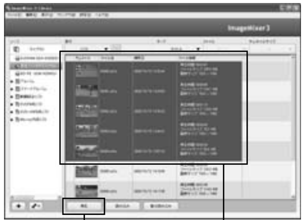


クリック

※1SD メモリーカードモードの場合は「リムーバブルディスク」と表示されます。

4 パソコンに映像を取り込む

保存したい映像のサムネイルを選択し、「読み込み」をクリックすると、パソコンへの映像の取り込みが始まります。



クリック　　保存する映像を選択

ヒント

- HDD モードの場合、「差分読み込み」をクリックすると、まだパソコンに取り込んでいない映像を一括して取り込めます。
- 連続したファイルを選択するときは [Shift] キーを、非連続のファイルを選択するときは [Ctrl] キーを押しながら、サムネイルをクリックすると、ファイルを複数選択できます。
- 映像の保存場所は、マイドキュメント内のIMxLibraryフォルダ内です。映像の保存場所を変更するときには、ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI の [設定]-[環境設定] から、「ライブラリ保存先の設定」を変更してください。
- パソコンのドライブを使用して、対応ライターで作成した BD-R の映像を取り込む場合、ライターでのファイナライズが必要です (P.96)。

5

パソコンに取り込んだ映像を確認する

ライブラリをクリックすると、 取り込んだ映像のサムネイルが表示されます。



クリック

6

パソコンに取り込んだ映像を再生する

再生したい映像をクリックし、その後、画面下部の「再生」をクリックすると、別画面で映像の再生が始まります。



クリック　再生する映像を選択

ご注意

推奨環境を満たしているパソコンの場合でも、ハイビジョン画質の映像がなめらかにならない場合があります。

パソコンに取り込んだ映像を整理する

ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI で取り込んだ映像が増えていくと、映像の管理が大変になってきます。このような場合には、アルバムを作成して映像ファイルの整理をしましょう。

ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI では、通常のアルバムとスマートアルバムの2種類のアルバムを作成できます。

アルバムやスマートアルバムを削除しても、登録されていた映像は削除されず、ライブラリに残ります。

アルバムとスマート アルバムの違いについて

アルバム

アルバムとは、従来の写真アルバムのように、好きな映像を選択して、ひとつにまとめることができる機能です。例えば、「運動会」というアルバムを作って、運動会の映像を選んで、アルバムを作成していきます。「運動会の映像が見たい！」と思ったときにすぐにまとめて再生、さらにアルバムからディスクを作成することもできます。

スマート アルバム

スマートアルバムとは、自動で映像を集める機能です。条件を指定すると、その条件を満たす映像ファイルが自動で集められます。

最近パソコンに取り込んだ映像の一覧表示や、映像を撮影日ごとに並べるなどの映像整理が簡単にできます。

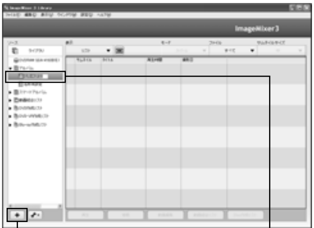
アルバムを作って映像をまとめる

1 ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI を起動する

2 新規アルバムをつくる

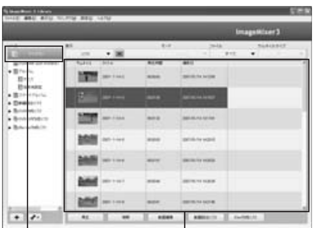
画面左下にある [＋] ボタンをクリックすると、「名称未設定」のアルバムが追加されます。

「名称未設定」をクリックして選択状態にし、もう一度クリックすると、アルバム名が変更できますので、お好みのアルバム名にしてください。



3 ライブラリから映像を選ぶ

ライブラリをクリックすると、映像のサムネイル一覧が表示されますので、アルバムに追加する映像のサムネイルをクリックして選んでください。

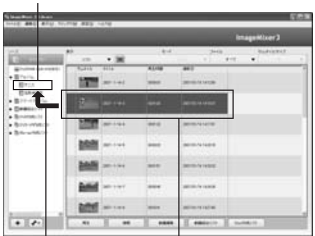


ヒント

連続したファイルを選択するときは [Shift] キーを、非連続のファイルを選択するときは [Ctrl] キーを押しながら、サムネイルをクリックすると、ファイルを複数選択できます。

4 アルバムに映像ファイルを追加する

手順 3 で選んだ映像を、手順 2 で作成したアルバム名のところへドラッグ＆ドロップすると、選んだ映像ファイルがアルバムに追加されます。



ヒント

アルバム内の映像の順番を並べ替えたい場合は、アルバム内の映像のサムネイルをドラッグ＆ドロップしてください。

スマート アルバムを作って映像を自動的にまとめる

1 ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI を起動する

2 新規スマートアルバムをつくる

[ファイル] メニューから [新規スマートアルバム ...] を選択します。



3 条件を指定する

スマートアルバムで映像を絞りこむための条件を指定します。映像の撮影日や映像のタイトルなどの条件を指定して「OK」をクリックすると、映像が自動検索され、新しいスマートアルバムの条件に一致した映像が登録されます。



4 スマートアルバムに名前をつける

手順 2 ～ 3 で作ったスマートアルバムは、「名称未設定」でスマートアルバムに追加されます。「名称未設定」をクリックして選択状態にし、もう一度クリックすると、スマートアルバム名が変更できます。



クリック

本機で記録した映像からパソコンを使用してディスクを作成する

ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI は、パソコンに取り込んだ映像を使って、ハイビジョン画質の映像をそのまま保存できる BD や、一般的な BD ／ DVD レコーダーや BD ／ DVD プレーヤーでお楽しみいただける DVD-Video や DVD-VR を作成できます。

なお、ディスクの作成には、それぞれのディスクの書き込みに対応したパソコンのドライブが必要になります。

ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI でパソコンに保存した映像からディスクを作成する手順について説明します。

1 ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI を起動する

2 ディスクをドライブに入れる

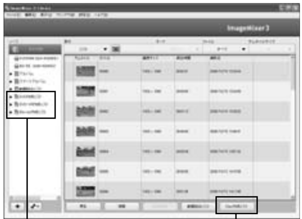
映像を書き込むディスクをパソコンのドライブに入れてください。
ディスクの種類によって映像の画質が下表のように異なりますので、ご注意ください。

ディスクの種類	映像画質と種類	作成するリスト
BD-RE/BD-R	ハイビジョン画質	Blu-ray作成リスト
DVD-RAM/DVD-RW	標準画質（DVD-VR）	DVD-VR作成リスト
DVD-RW/DVD-R	標準画質（DVD ビデオ）	DVD作成リスト

表 1　ディスクの種類とその内容について

3 ディスク作成リストをつくる

「ライブラリ」をクリックして、その後、画面下部の「Disc 作成リスト」をクリックすると、3 種類のディスク作成リストが選べますので、表 1 を参考に、手順 2 でドライブに入れたディスクにあったディスク作成リストを選んでください。



ヒント

アルバム / スマートアルバムからディスク作成リストを作る場合には、それぞれのアルバム / スマートアルバムを表示時に、シーンを選んで画面右下部の「Disc 作成リスト」のボタンをクリックし、作成するディスクに合ったリストを選んでください。

4 作成するディスクの設定をする

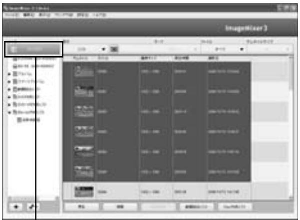
作成したリストをダブルクリックすると、リストの設定画面が表示されますので、画質やメニュー (DVD-VR にはメニューはありません) などを設定してください。



リスト設定画面（BD の場合）

5 ディスク作成リストに映像を登録する

「ライブラリ」をクリックして映像の一覧を表示し、ディスクに収録したい映像を作成したディスク作成リストにドラッグ&ドロップして、映像を追加してください。



クリック

ディスクの作成リストをクリックすると、その下部にディスクの予想容量が表示されますので、ディスク容量より大きくならないようにディスク作成リストに映像を追加してください。ディスク容量をオーバーした場合には、複数のディスクに分割して書き出すことはできませんので、リストからシーンを削除してください。



クリック　ディスクの予想容量

ヒント

連続したファイルを選択するときは [Shift] キーを、非連続のファイルを選択するときは [Ctrl] キーを押しながら、サムネイルをクリックすると、ファイルを複数選択できます。

ご注意

DVD 作成リスト／ DVD-VR 作成リストに本機で撮影した映像を加えて DVD を作成すると、映像の変換を行なうため、映像の画質が劣化し、ディスクの作成に時間がかかります。

6 ディスクに書き込む

手順 3 ～ 5 で作ったディスク作成リストをクリックして表示し、画面下部の「書き込み」をクリックすると、書き込みの設定画面が表示されます。



クリック　クリック



クリック

設定内容を確認し、「作成」をクリックすると、ディスクへの書き込みが開始されます。ディスクができあがると、パソコンから自動的にディスクが出ます。

ご注意

- 書き込み設定画面で、「ディスクの消去」を設定すると、ディスク上のデータはすべて消去されますので、ディスクの内容を十分確認してください。
- それぞれのディスクの規格に準拠しない映像が含まれる場合には、映像が再エンコードされるため、画質が劣化します。

■ ソフトウェアのアンインストールについて

「コントロールパネル」から「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」を開き、表示されたアプリケーション一覧から、「ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI」を選択して「変更 / 削除」ボタンをクリックしてください。
ソフトウェアのアンインストールが開始されますので、指示に従い、ソフトウェアをアンインストールしてください。

ご注意

- ソフトウェアをアンインストールした後は、パソコンを再起動してください。
- アンインストールには管理者権限が必要です。

パソコンと接続するときの注意事項

● **パソコンと本機を接続する場合、電源は AC アダプター／チャージャーをご利用ください。**

・ 転送中に本機の電源が切れると、お客様の貴重な録画内容が失われる原因となります。

● **パソコンから本機へアクセスしているときは、ケーブル類の抜き差しはしないでください。**

・ アクセスランプが点滅しているときに USB ケーブル（同梱）や電源コードを抜き差しすると、お客様の貴重な録画内容が失われる原因となります。

● **本機をパソコンと接続してお使いになるときは、約 30 ℃以下の環境で行い、本機が高温にならないように、ご注意ください。**

・ 本機が高温になると、本機の動作に支障が出る場合があります。
HDD に記録した長時間のシーンをパソコンに取り込む場合には時間がかかるため、本機が高温にならないようにご注意ください。

● **本機をパソコンと接続する際には、USB ケーブルと AC アダプター / チャージャー以外のケーブルやカメラアクセサリー(外部マイクなど）は外してください。**

● **本機とパソコンを eSATA 端子で接続しないでください。**

● **本機の電源が「切」のときは、パソコンへは接続できません。**

● **本機のフェード設定などの編集内容は、同梱のソフトウェアでは反映されません。**

● **本機に同梱のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して本機にデータを読み書きできることがありますが、動作保証はいたしません。**

● **本機に同梱のソフトウェアで作成したディスクは、それぞれのディスクに対応した機器での再生を確認しておりますが、すべての機器での再生を保証するものではありません。
再生機器やディスクの記録状態により再生できない場合があります。**

お問い合わせ先

- ImageMixer 3 HD Edition for HITACHI に関するお問い合わせ先

ピクセラユーザーサポートセンター
TEL 06-6633-3900
FAX 06-6633-2992
受付時間 10：00 ～ 13：00　14：00 ～ 17：00
（土、日、祝日およびピクセラ社の休日を除く）

サポート WEB URL
http://www.pixela.co.jp/oem/hitachi/j/index.html

- パソコンと本機との接続等に関するお問い合わせ先

日立マルチメディアインフォメーションセンター
TEL 0120-147-226
受付時間 9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：30
（土、日、祝日および弊社の休日は休ませていただきます）

別売品の紹介

● 対応ライター（ドライブ　市販品）
BRD-UXH6（株式会社アイ・オー・データ機器製）

● カメラアクセサリー
ワイドコンバージョンレンズ （DZ-WL43）
テレコンバージョンレンズ（DZ-TL43）
・ ご使用になるときは、各アクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

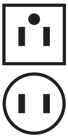
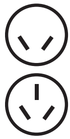
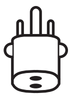
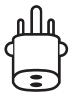
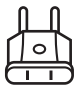
● 電　源
バッテリーパック（DZ-BP14SJ）7.2V ／ 1360mAh
バッテリーパック（DZ-BP21SJ）7.2V ／ 2040mAh

※ 詳しくは、カタログをご覧ください。
※ 本ページに記載の別売品は、形式や仕様が変更になったり、生産が中止になる場合があります。

海外で使うとき

本機は海外でもお使いいただけます。付属の AC アダプター／チャージャーは AC100 ～ 240V · 50 ／ 60Hz の電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、コンセントの形状に合った市販の変換プラグアダプターをお求めのうえ、お使いください。各国のコンセントの形状については、旅行代理店などでおたずねください。

● **コンセントの形状と変換プラグの種類**

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状	 主に北米・南米・グアム・サイパン		 イギリスなど	 主にヨーロッパ	 主にオーストラリア
変換プラグ	不要です。そのままコンセントに差し込んでください。				

● **テレビについて**

再生映像をテレビに接続してご覧になる際は、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC 方式）で、映像・音声入力端子付きのテレビであれば、付属の AV ／ S 入出力ケーブルを使って見ることができます。
日本と同じカラーテレビ方式（NTSC 方式）を採用している国または地域
（五十音順）

· アメリカ合衆国	· キューバ	· コロンビア	· チリ	· ハイチ	· パナマ	· ベネズエラ	· ミャンマー
· エクアドル	· グアテマラ	· スリナム	· ドミニカ	· バハマ	· フィリピン	· ペルー	· メキシコ
· エルサルバドル	· グアム	· 大韓民国	· トリニダードトバゴ	· バミューダ	· プエルトリコ	· ホンジュラス	
· カナダ	· コスタリカ	· 台湾	· ニカラグア	· バルバドス	· 米領サモア	· ボリビア	

· 本機は国内仕様です。付属の保証書は国内のみ有効です。万一海外で故障や不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用の補償については、ご容赦ください。

その他

メッセージが表示されたら

操作の途中でメッセージが表示されることがあります。
メッセージが表示されたときには、その内容に応じて、適切に対処してください。
メッセージは 50 音順に記載してあります。

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
① 映像の一部に不具合を検出しました。修復を行いますか？ ② 映像に不具合を検出しました。修復を行いますか？ ③ 修復するには、長時間かかる場合があります。修復を続けてください。	映像記録中や編集（シーン削除・シーン分割・結合・プレイリスト作成など）中に誤って電源を切るなどして、システムがファイル書き込み処理を正常に終了できなかった可能性があります。 「はい」を選択すると、自動的に映像の修復をします。[■] で中止しても、次に電源を入れたときに再び同様のメッセージが表示されます。 画面の指示に従ってください。このときに以下のような注意事項があります。 修復するときは、AC アダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使用しての修復はできません。バッテリーパック使用時は、電源スイッチを一度切り、AC アダプター／チャージャーに接続してください。 バッテリーパックの残量が半分以上の場合に ① のメッセージが表示されたときは、バッテリーパックでも修復できます。 ・ 修復は通常数分で完了しますが、長時間（1 時間程度）かかる場合もあります。 ・ 電源を切られたタイミングによっては、修復できない場合があります。 ・ 不具合箇所の一部削除などにより、修復されたデータは元の記録内容と異なる場合があります。 ・ 修復されたデータ（一部修復の場合は修正箇所のみ）については、修復実行時の日時情報が付加されるため、元の日時情報は失われます。	—
AC アダプター／チャージャーを使用してください。	HDD 完全消去、ライターに接続してのダビングはバッテリーパックではできません。AC アダプター／チャージャーをお使いください。	P.26 P.82 P.132
AC アダプター／チャージャーを使用してください。電源を切ってください。	バッテリーパックを使っていると、映像の修復はできません。	P.26
HDD エラーが発生しました。	HDD を初期化してからご利用ください。 初期化すると、HDD に記録されている内容はすべて消去されます。	P.76
HDD エラーが発生しました。初期化しますか？	HDD の初期化を中断しませんでしたか？ 「はい」を選択して初期化してください。 初期化すると、ＨＤＤ に記録されている内容はすべて消去されます。	P.76
HDD エラーが発生しました。初期化できませんでした。	HDD の初期化を中断しませんでしたか？ ［ RESET ］を押して、システムリセットしてください。	P.158
HDD エラーが発生しました。電源を入れなおしてください。	映像編集中に HDD エラーが発生した可能性があります。本機の電源を切り、AC アダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。 映像の修復をします。	P.26
HDD が初期化されていません。	HDD が初期化されていないか、壊れている可能性があります。	—

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
HDD 残量が不足しているため実行できません。	HDD 残量不足時に、プレイリスト新規作成・プレイリスト編集・分割を行おうとすると表示されます。 不要なシーンを削除してください。	P.71
HDD が高温のため処理を継続できません。 しばらく間をおいてから実行してください。	本機内の温度が高温になっています。本機の温度が高温になると HDD への書き込みや HDD からの読み込みが正常にできない可能性があります。電源を切って、しばらくお待ちください。	—
HDD 残量がなくなります。	HDD の残量が、動画で 1 分以内になりました。不要なシーンを削除してください。	P.71 P.161
HDD プロテクトされています。 HDD プロテクトを解除してください。	HDD がプロテクトされています。 ディスクナビゲーションのメニューからプロテクトを解除してください。	P.76
いくつかの管理情報を追加できませんでした。	登録されているシーン数が登録可能な最大数に達しています。いくつかのシーンを結合するか、削除してください。	P.71 P.72
映像が記録されていません。	1 シーンも記録されていない状態で、ディスクナビゲーションからの再生、編集を実行しようとした場合に表示されます。	—
映像の修復に失敗しました。 不具合が発生したシーンを削除したため、HDD はこのままお使いいただけます。	修復しようとしている HDD に異常が発生しました。修復には失敗しましたが、HDD はそのままお使いいただけます。	—
カードエラーが発生しました。	・ カードの端子が汚れている可能性があります。汚れを落としてからご使用になるか、別のカードをお使いください。 ・ 静止画以外のデータが入っている可能性があります。別のカードをご使用ください。	P.25
カードエラーが発生しました。 カードを入れたまま電源を入れ直してください。	映像編集中にカードエラーが発生した可能性があります。 使用中のカードを本機に入れたまま電源を切り、AC アダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。	P.26
カードエラーが発生しました。 初期化しますか？	パソコンで初期化したカードではありませんか？ 初期化中に中断したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化してください。	P.76
カードエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	カードが壊れている可能性があります。別のカードをご利用ください。	P.25
カードがロックされています。 ロックを解除してください。	誤消去防止スイッチがロックされたカードが入っています。ロックを外してください。	P.25
カード残量がなくなりました。	これ以上の記録はできません。不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	P.71 P.162
カード残量がなくなります。	カードの残量が静止画で残り 10 枚未満になりました。 不要なシーンを削除するか、別のカードをお使いください。	P.71 P.162
カード残量が不足しています。	不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	P.71 P.162
管理情報エラーが発生しました。	記録されている映像と、シーン情報の不整合が生じている可能性があります。管理情報更新をしてください。	P.124

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
結合するシーンが複数選択されていません。 シーンを複数選択してから結合してください。	結合したいシーンを 2 シーン以上範囲選択してから結合してください。	P.72
高温／低温のため HDD を使用できません。電源を入れ直してください。	本機の HDD の温度が動作温度内にない場合に表示されます。	P.161
この HDD には記録できません。	HDD が書き込み禁止になっていないか確認してください。 HDD が壊れている可能性があります。	P.76
このカードには記録できません。	本機で使用できないカードまたは書き込み禁止のカードが入っています。カードを確認してください。	P.25
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	パソコンで初期化したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化をしてください。	P.76
削除できるシーンはありませんでした。	ディスクナビゲーションで複数のシーンを削除したとき、選択されているシーンがすべてロックされている場合に表示されます。削除を実行する場合にはロックを解除してください。	P.71 P.74
撮影日が異なるシーンは結合できません。プレイリストを作成し、結合してください。	撮影日が異なるシーンの結合はできません。結合したい場合は、プレイリストを作成してください。	P.68 P.72
処理を中断しました。	複数のシーンを処理しているときに［■］（停止／キャンセル）を押して中断したときなどに表示されます。	—
シーンを削除できません。 他のシーンを削除してから再びお試しください。	分割などの編集をしたシーンを削除する際に起こる可能性があります。	P.71
シーンが短すぎるため分割できません。	分割などを繰り返し、シーンが極端に短い場合に表示されます。	P.71
静止画の記録はできません。 動画／静止画選択スイッチを「静止画」にしてください。	・ 動画／静止画選択スイッチが動画のときに［フォト］を押すと表示されます。 ・ HDD には静止画の記録はできません。 本機で静止画を記録する場合は、カードをお使いください。	P.33
選択可能なシーン数を超えました。 これ以上、選択できません。	選択可能なシーン数は最大 999 シーンです。	P.37
選択シーンが連続していないため、結合できません。	選択シーンが連続していないときシーンの結合はできません。	P.72
動画の記録はできません。動画／静止画選択スイッチを「動画」にしてください。	動画／静止画選択スイッチが「静止画」のときに録画ボタンを押すと表示されます。	P.28
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを登録できません。	プレイリストに登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください。	P.67 P.71
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを分割できません。	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください。	P.71
登録可能なプレイリスト数を超えています。プレイリストを作成できません。	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しているときに、プレイリスト作成が選ばれた場合に表示されます。	P.67

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
登録シーンが全て削除されたため、編集されたプレイリストを削除しました。	プレイリストのシーンがすべて削除されました。 規格上、シーンのないプレイリストを保持できていないので、登録シーンがすべて削除されたプレイリストは削除されます。	—
秒撮モードに入れません。	録画一時停止状態以外では秒撮モードに入れません。 以下の状態が考えられます。 · 電源スイッチが「SD カード」のときに本機にカードが入っていない · HDD ／カードの残量がない · 使用できないカードが入っている · ディスクナビゲーション画面が表示されている · 再生中	P.29
複数シーン選択時には分割できません。	複数シーン選択時に、分割を実行した場合に表示されます。	P.71
プレイリストが登録されていません。	プレイリストが 1 つも登録されていない状態で、プレイリスト切替を選んだ場合に表示されます。	P.68
プレイリスト中の関連シーンも削除されます。シーンを削除しますか？	全シーン、あるいは日付ごとの表示に切り替えてシーンを削除する際、プレイリストがある場合に表示されます。（プレイリストでシーンを削除してもメッセージは表示されません）。シーンを削除すると、プレイリスト中の関連シーンも削除されます。	P.71
プロテクトされたシーンが含まれます。シーンを削除しますか？	本機以外の機器でソフトウェアプロテクトがされている可能性があります。その場合はソフトウェアプロテクトをかけた機器でソフトウェアプロテクトを解除してください。	—

ライターと接続しているとき

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
BD リンクできません。動画／静止画選択スイッチを「動画」にしてください。	動画／静止画選択スイッチが「」のときに、[B D リンク] を押すと表示されます。動画／静止画選択スイッチを「」にしてください。	—
このディスクは初期化されていません。初期化しますか？	新品の BD-RE、BD-R を挿入したときに表示されます。	—
このディスクは PAL 方式で記録されています。ディスクを交換してください。	本機は NTSC 方式で記録したディスクのみ使用できます。 PAL 方式で記録されたディスクは使用できません。	—
このディスクは再生モードで使用してください。	ライターにファイナライズした BD-R/DVD-R が入っているときに、「ディスク管理」を選択すると表示されます。ファイナライズした BD-R/DVD-R は、初期化、ファイナライズはできません。	—
このディスクは使用できません。 ディスクを交換してください。	ライターで使用できないディスクが入っています。ディスクの種類が正しいか確認してください。	P.82
このディスクは初期化できません。	ダビング後の BD-R は初期化できません。	—
このディスクはダビングモードで使用してください。	映像が記録されていない DVD-R で、「ディスク管理」を選択すると表示されます。本機と接続したライターでは、DVD-R の初期化やファイナライズはできません。	—
このディスクはファイナライズできません。	他機器で記録した BD-RE を、本機と接続したライターで、ファイナライズすることはできません。	—

その他

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
シーンはすべてダビング済みです。 「はじめてダビング」以外でダビングしてください。	未ダビングシーンがない状態で「はじめてダビング」をしようとしたときに表示されます。 ダビング済みマークを解除するか、他のダビング方法を選んでください。	P.87 P.94
シーン No.xxx は記録時間が長いため 1 枚のディスクに入りません。シーンを分割するか、「自動分割あり」でダビングしてください。	ダビングするシーンの容量がディスク 1 枚の空き容量（SF モード時で約 1 時間／ HX モード時で約 3 時間）より大きい場合に表示されます。シーンを分割してからダビングするか、または「自動分割あり」でダビングしてください。	P.71
接続されている外付けライター（ドライブ）は使用できません。	本機に非対応のライターが接続されている場合に表示されます。	—
外付けライター（ドライブ）の接続が切断されました。 接続を確認してカメラ、ライターの電源を入れなおしてください。	ライター使用モード内で、ライターの接続が不可能になった場合に表示されます。 このようなときは、本機とライターの電源を入れ直してください。	—
ディスクエラーが発生しました。 カメラ、ライターの電源を入れ直してください。	ダビングに失敗したときに表示されます。 このようなときは、本機とライターの電源を入れ直してください。	—
ディスクエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	ディスクが汚れているなどの可能性があります。ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。 また、初期化が途中で中断されたディスクを再度入れたときにも、表示されることがあります。このようなときは、別のディスクをお使いください。	—
ディスクエラーが発生しました。 ファイナライズ解除できませんでした。	ファイナライズ解除中にディスクエラーが発生し、ファイナライズ解除に失敗したときに表示されます。ディスクを交換してください。	—
ディスクエラーが発生しました。 ファイナライズできませんでした。 カメラ、ライターの電源を入れ直してください。	· ファイナライズ中にディスクエラーが発生し、ファイナライズに失敗したときに表示されます。ディスクを交換し、本機とライターの電源を入れ直してください。 · P.121 注 1 参照。	—
ディスクを入れてください。	ディスクが入っていません。 ディスクを入れてください。	—
	ディスクが正しく入っていません。	—
	ディスクが裏返しになっていませんか？ 表裏を確認して、ディスクを入れ直してください。	—
表示分類が“全て”の場合のみ実行可能です。	表示分類がダビング済／未ダビングのときに、シーンの結合や並べ替えを選んだ場合に表示されます。	P.93
ファイナライズしますか？ 約 XX 分かかります。 記録できなくなります。 （他の機器で再生する際にはメニュー画面は表示されません。）	ダビングした BD-R をファイナライズする際、残量が足りないと表示されます。 他機器で再生できるようにはなりますが、ＢＤ メニュー画面は表示されません。	—

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
ライターの接続を確認してください。 対応ライター（市販品）を使用して、撮影した映像のディスク保存と再生ができます。	［ＢＤ リンク］を押したとき、ライターが接続されていない、電源が入っていないなどで、本機がライターを認識できなかった場合に表示されます。	—

注１ ・ディスクに汚れが付着したときにこのメッセージが出ることがあります。ディスクを取り出して、ディスクの汚れを乾いた柔らかい布でふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にこのメッセージが出ることがあります。乾いてからご使用ください。

注２ ・片面ディスクの場合、ディスクの裏表が逆になっているとこのメッセージが出ます。ディスクを正しい向きに入れ直してください（ラベル印刷面を上側にして挿入してください）。

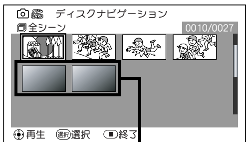
注３ ・ファイナライズしていない BD-R ／ DVD-R は BD ／ DVD レコーダーに入れないでください。ディスクが使えなくなる場合があります。

故障かな…と思ったら

修理を依頼する前に、下記のことをお調べください。それでも動作に支障が出たときは、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては、P.159 をご覧ください。

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
電源について	バッテリーパックが充電されない ＊ 右の対処で解決しない場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。新しいバッテリーパックをご用意ください。	AC アダプター／チャージャーに DC パワーコードが接続されていませんか？ DC パワーコードを外してください。	P.19
		バッテリーパックが異常に熱くなっていませんか？ バッテリーパックを外して、しばらく放置し、温度が低くなってから充電してください。 周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？ 気温が 10 ～ 30 ℃の環境で充電してください。	—
		長期間使用しなかったバッテリーパックではありませんか？ 一度バッテリーパックを外し、取り付けなおしてください。	P.27
	バッテリーパックの消耗が早い	気温が低い場所で使用しませんでしたか？ 満充電されたバッテリーパック（DZ-BP14S ／ DZ-BP14SJ ／ DZ-BP21SJ）は、気温の低い場所などでは通常よりもバッテリーの消耗が早くなることがあります。 気温の低い場所でご使用になるときは、バッテリーパックを多めにご用意ください。	P.26
		バッテリーパックの寿命が考えられます。 バッテリーパックは、消耗品です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。	P.27
	AC アダプター／チャージャーの CHARGE ランプが点滅している	バッテリーパックが過剰に放電している可能性があります。そのまましばらく充電を続けると、規定の電圧まで充電され、充電ランプが点灯します。その後、正常に充電されます。 周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？ 気温が 10 ～ 30 ℃の環境で充電してください。	P.26
	電源を入れてもすぐに切れる	バッテリーパックは充電されていますか？ バッテリーパックを充電してください。	P.19
	電源を入れると、液晶モニターがついたり消えたりする		
	液晶モニターに何も表示されないのにアクセスランプが点滅している		
	途中で電源が切れる	パワーセーブの設定が「オン」になっていませんか？ 「オン」に設定してあると、電源を入れたままの状態で撮影や再生をしないで 5 分以上経過すると、自動的に電源が切れてしまいます。電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。自動で電源を切らないようにするためには、パワーセーブの設定を「オフ」にしてください。	P.47
		秒撮モードになっていませんか？ 秒撮モードのまま、30 分以上経過すると自動的に電源が切れてしまいます。 電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。	P.29
	電源が切れない	バッテリーパックまたは AC アダプター／チャージャーを抜いてください。その後、本機の ［ RESET ］ を押し、再度電源を入れてください。	P.26 P.27 P.158

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
撮影・録画時	「録画」ボタンを押しても録画が始まらない	· 電源スイッチを「入」に合わせてください。 · HDD にプロテクトがかかっている場合は、プロテクトを解除してください。 · HDD の残量を確認してください。	P.20 P.28 P.76 P.77
	録画を開始しても、すぐ止まってしまう	本機内部の温度が高温になっています。 画面のメッセージに従ってください。 電源を切ってしばらく待つと、再び使えるようになります。	—
	静止画が撮影できない	· 正しい種類のカードが入っているかどうか、確認してください。 · 動画／静止画選択スイッチを「 」に合わせてください。 · カードロックがかかっている場合は、ロックを解除してください。 · カードの残量を確認してください。	P.25 P.33 P.77
	液晶モニターが見にくい	液晶モニターの明るさは調節しましたか？ 撮影や録画を停止し、液晶モニターの明るさを調節してください。	P.18
	被写体がゆがんで見える	故障ではありません。 撮像素子 (CMOS センサー）の画像の性質により、被写体が少しゆがんで見えることがあります。	—
	画面に横帯が見える	故障ではありません。蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、このような症状が現れることがあります。	—
	画面に輝点が見える	故障ではありません。暗い被写体上にまれに細かな輝点が見えることがあります。	—
	液晶モニターに表示ムラができる	液晶モニターやそのまわりを押しませんでしたか？ 液晶モニターを圧迫すると映像ムラが生じます。手を離して、しばらく放置すると元に戻ります。	—
	ピントが合わない	オートフォーカスが働きにくい被写体ではありませんか？ 手動でピントを合わせてください。	P.51
		フォーカスアイコンが表示されていませんか？ マニュアルフォーカスになっています。手動でピントを合わせるか、マニュアルフォーカスを解除してください。	P.51
		上記以外の場合は、一度電源を切り、入れ直してください。	—
	修復エラーメッセージが出たとき	画面表示にしたがい、修復をしてください。 修復は AC アダプター／チャージャーでしかできません。 映像ファイルの一部にエラーを検出した場合に、バッテリーパックの残量が半分以上あれば、バッテリーパックでも修復できます。	P.26
	撮影しているものが暗くなってしまう	背景に明るいもの（窓や照明、太陽など）があると撮影しているものが暗くなりますので、撮影の向きを工夫して背景に明るいものが入らないようにするか、逆光補正を使用してください。	P.53
	撮影しているものの明るさが変わってしまう	背景の明るさが変化すると本機の自動露出調整により撮影しているものの明るさが変わります。背景の明るさが変わらないように撮影してください。	—
	明るいものの周りや、暗いものとの境目に、色がついてしまう	故障ではありません。明るさの差が少なくなるように向きなどを工夫して撮影してください。	—
	早い動きを撮影して、再生一時停止するとブレて見える	明るい場所で撮影するとブレが少なくなります。	—
	録音される音の大きさが変化する	本機は録音する音の大きさに合わせて録音レベルを自動調節するため、音の大きさが変わる場合があり、異常ではありません。また、録音レベルを固定にすることはできません。	—

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
再生時	テレビに再生映像が出ない	テレビの入力切替は正しく設定されていますか？ テレビによってはビデオ入力が複数あるものがあります。接続した端子に対応する入力になっているか、確認してください。 ビデオデッキに接続しているときは、ビデオデッキの入力切替を「外部入力」（LINE）にしてください。	P.81
		テレビと正しく接続されていますか？ 接続を確認してください。 HDMI 接続時、1080i に対応していないテレビには映りません。端子を変えてください。	P.78
	記録した映像が、縦長に表示される	ワイドテレビ以外のテレビ（画面比率 4：3）と本機をつないでご覧になると、映像が縦長に表示されます。	P.80
	音声が出ない	テレビの音量は正しく設定されていますか？ テレビの音量を調節してください。	P.81
	ディスクナビゲーションで正常に表示されない	HDD のディスクナビゲーション画面の表示に時間がかかりすぎるような場合は、以下を試してください。 1.［見る］を押したあと、[メニュー] を押す 2. [⏮] ／ [⏭] で「HDD 設定」を選び、[決定] を押す 「管理情報更新」の確認画面が表示されます。 3. [◀◀] で「はい」を選び、[決定] を押す 管理情報の更新が始まります。更新中のメッセージが表示されている間、黒い画面が出ることがあります。(時間がかかることがあります。)	—
	カードの静止画が 4000 シーン以上表示されない	ディスクナビゲーションで、カードに静止画が 4000 シーン以上ある場合は、3999 シーンまでしか表示されませんが、再生は可能です。	—
	カードの静止画が再生できない	カードに記録されている DCF 規格に対応した他のデジタルカメラの画像データを再生することができます。ただし、他のデジタルカメラの画像データの記録状態によっては、青色のサムネイル（右図 *）が表示され、再生できない場合があります。  * DCF（Design rule for Camera File system）とは、デジタルカメラの統一画像ファイルフォーマットです。DCF 対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。	—
	カードの静止画再生に時間がかかる	静止画を再生すると、“再生を開始します。”と表示されますが、画素数の大きな静止画では表示されるまでに時間がかかります。	—
	ファイナライズした BD-RE を他機器で再生してもメニュー画面が出ない	ファイナライズを解除してからもう一度ファイナライズをしてください。	P.96

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
ライターと接続しているとき	[BD リンク] を押してもライターが認識されない	BD リンクメニューを使用するときは、下記に注意してください。 ・ 本機に ＡＣ アダプター／チャージャーを接続してください。 ・ 本機とライターの電源を入れてください。 ・ 本機の動画／静止画選択スイッチを「」にしてください。 ・ eSATA ケーブルを、本機、ライターの端子に奥まで差し込んでください。 上記を確認しても認識されない場合は、本機とライターの電源をいったん切り、再度、電源を入れ直してから操作してください。	—
	ディスクの認識が終了しない	・ ディスクがライターに正しく挿入されているかどうか確認してください。 ・ ディスクに汚れがあると、正しく認識できません。柔らかい布で、ディスクの汚れを取り除いてから、使用してください。	—
	ライターのトレイが開閉できない	・ ダビング中、再生中、ディスクナビゲーション画面表示中は、トレイは開きません。ダビングまたは再生モードを終了してから、トレイを開いてください。 ・ ライターの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 ・ BD リンクメニューを終了してから、トレイを開いてください。 上記を実行してもトレイが開かない場合は、本機とライターの電源をいったん切り、再度電源を入れ直してから操作してください。	—
	再生モードを選択しても再生できない	本機とライターを接続している場合、以下のディスクは再生できません。 ・ 他機器で記録したディスク ・ BD-RE/BD-R/DVD-R 以外のディスク	P.83
パソコンと接続しているとき	パソコンから認識されない	本機の電源は入っていますか？ 電源を確認してください。	P.20
		パソコンの電源を切ってから USB ケーブルを一度外してください。再度パソコンの電源を入れて、USB ケーブルで本機と接続してください。	P.104
		USB ケーブルが本機に根元まで挿入されているか、確認してください。	P.102
	パソコンの映像再生中、再生異常が発生する	HD 画質の映像の再生には、高い処理能力が必要となります。 他のソフトウェアを終了して再生してください。	P.99
	パソコンのアプリケーションが正常に動作しない	一度パソコンと本機の電源を切り、再度試してください。	—
	パソコンで BD ／ DVD への書き込みができない	BD ／ DVD に傷や汚れ、指紋はありませんか？ BD ／ DVD をクリーニングしてください。	—
	映像を転送している間に停止してしまう	BD ／ DVD に傷や汚れ、指紋はありませんか？ BD ／ DVD をクリーニングしてください。	—
	同梱のソフトウェアをインストールしたら、パソコンで使用している BD ／ DVD ドライブが使えなくなった	お使いのパソコンの BD ／ DVD 編集／作成ソフトウェアをバージョンアップすると解決することがあります。	—
	ImageMixer3 HD Edition for HITACHI を起動するとエラーが表示される。またはパソコンが応答しなくなる	お使いのパソコンのディスプレイアダプタ（ビデオカード）が Direct X® 9.0c に対応しているかご確認ください。	P.99

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	パソコンでディスク内のファイルのタイムスタンプを見ると、撮影時刻とずれている	本機のファイルシステムは GMT(グリニッジ標準時）で動作しており、時差情報は未設定となっています。2008 年 1 月現在の Windows では、エクスプローラから見えるファイルのタイムスタンプは撮影時刻と差があるように見えます。なお、再生画面上の日付表示は実際の撮影時刻で表示されます。	―
	ImageMixer3 HD Edition for HITACHI の動画編集で、編集した動画の保存に時間がかかる	プロジェクト設定と異なる内容の映像ファイルを編集した場合、映像ファイル全体が再エンコードされるため、時間がかかります。プロジェクト設定を再確認してください。	―
その他	本機が動作しない	十分に充電されたバッテリーパックを取り付けてありますか？ または、コンセントから電源がとってありますか？	P.19 P.26
	電源が入らない、ボタンを押しても操作を受け付けない	本機の［ RESET ］を押し、再度電源を入れてください。	P.158
		本機に強い衝撃を与えませんでしたか？ 本機が壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	―
	日付・時刻が合わなくなった	使用しない期間が長期に及びませんでしたか？ 内蔵電池がなくなっている可能性がありますので、充電してください。	P.47
	［秒撮］を押しても秒撮モードにならない	録画一時停止状態以外では秒撮モードに入れません。 以下の状態が考えられます。 ・ 電源スイッチが「SD カード」のときに本機にカードが入っていない ・ HDD ／カードの残量がない ・ 使用できないカードが入っている ・ ディスクナビゲーション画面が表示されている ・ 再生中	P.29
	シーンの削除ができない	削除したいシーンにカーソルが合っていますか？ 黄色のカーソルで任意のシーンを選んでも選択済のシーン（赤ワクのあるシーン）があるとそのシーンが削除されてしまいます。サムネイル画面でカーソルとバーグラフの色を確認してください。	P.37 P.71
	リモコンで操作できない	リモコンを本機の受信部に向けていますか？ 本機の受信部に向けて操作してください。	P.14
		本機の受信部に直射日光や蛍光灯の強い光が直接当たっていませんか？ 受信部に強い光が当たっていると、操作できません。 本機の置き場所や角度を調整してください。	―
		リモコンに電池は入っていますか？ 電池の向きも確認してください。電池がなくなっている可能性もあります。電池を交換してみてください。	P.15
		本機の電源は入っていますか？ 本機の電源を入れてください。	P.20
	手に振動を感じる、本機から小さな音がする	HDD ドライブの動作により発生しています。故障ではありません。	―

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
その他	アクセスランプがいつまでも点灯または点滅していて、操作ができない	以下のような場合は、操作ができるようになるまで通常より時間がかかります。 ・ 最後に電源を切ってから長時間経過したとき ・ 前回撮影した状態から気温が大きく変わったとき ・ 激しい振動が加えられたとき ・ 電源スイッチで電源を切らずに、いきなりバッテリーパックや DC パワーコードを外したとき	—
	液晶モニターに映像が映らない	USB ケーブルでパソコンと接続していませんか？ USB ケーブルを抜いてください。 ワイプアウトを設定して再生したシーンの最後で停止していませんか？ ［見る］を押してください。 秒撮モードになっていませんか？ ［秒撮］を押して、秒撮モードを解除してください。	P.29 P.73 P.102

ご使用上の注意

■ HDD についてのご注意

HDD に録画したデータは保存してください

- HDD に録画したデータの保護のため、ライターやパソコンを使ってデータをBD ／ DVD に保存してください。
  撮影したあとは、定期的に保存することをおすすめします。

磁石や磁気の強いものを近づけないでください

- 本機に磁石や磁気の強いものを近づけると記録、再生ができなくなる場合があります。

衝撃にご注意ください

- 本機は、スカイダイビング、ジェットコースター、バンジージャンプなど、無重力になったり、衝撃の激しい状態ではお使いになることができません。

■ 取り扱い上のご注意

● 使用上のご注意

本機の温度、環境の温度にご注意ください

- 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりすると、正常に撮影／再生できないことがあります。
- 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりした場合に「高温／低温のため HDD を使用できません。しばらく間をおいてから実行してください。」というメッセージが表示されることがあります。
- 本機の温度が低い場合、電源を入れたまま数分待ってから再度電源を入れ直すと本機が温まってお使いになれる場合があります。
- 本機とパソコンをつなぐときは、室温で使用してください。また、長時間連続使用しないでください。気温の高いところで長時間使用すると、本機が熱くなり正常に動作しなくなることがあります。

本機は業務用ではありません

- 本機は一般のご家庭での撮影／再生を目的として作られています。業務用として使わないでください。
- 本機は、監視カメラやモニターとして長時間連続して使用することはできません。長時間連続して使用した結果、温度が一定限度を超えて上昇すると、記録／再生動作が遅くなったり、その他の不具合が発生することがあります。この場合は、電源を切ってしばらくたってから使用してください。

液晶モニターはとても繊細な表示装置です

- 液晶モニターをつかんで本機を持ち上げると、液晶モニターが外れて、本機が落下することがあります。
- 特にモニター表面は壊れやすいので、強く押したり、叩いたり、先のとがったもので突いたりしないでください。
- 表面を押すと、表示ムラができることがあります。表示ムラがなかなか消えないときは、いったん電源を切り、しばらく待ってから入れ直してください。
- 液晶モニターを下側にして本機を置かないでください。
- 本機の液晶モニターは、使用しないときは閉じてください。

液晶モニターの画素欠けについて

- 液晶モニターは非常に精密度の高い技術で作られています。全表示画素（約21 万画素）のうち 0.01%以下の画素欠け（黒い点）や常時点灯（赤・青・緑）するものがあります。これは現在の技術の限界であり、不良ではなく、録画には支障ありません。

衝撃を与えないよう、ご注意ください

- 本機は精密機械です。硬いものにぶつけたり、落としたりしないよう、十分注意して取り扱ってください。
- 三脚を使用するときは、本機をしっかり固定し、極度に振動、衝撃の大きいところで使用しないでください。

太陽に向けないでください

- レンズに直射日光が入ると、本機が故障したり火災が発生するおそれがあります。
- 液晶モニターを直射日光に当てたまま放置すると、故障の原因となります。

砂やほこりがかからないよう、ご注意ください

- 細かい砂やほこりが内部に入ると、故障の原因となります。

製品の熱について

- 本機、AC アダプター／チャージャー、バッテリーパックは製品表面が熱くなりますが、故障ではありません。

露つきにご注意ください

- 冬にスキー場のゲレンデからロッジに入ったり、夏に冷房の効いた部屋や車内から屋外に出たりしたときに、極端な温度差によりレンズや本機の内部に結露（温かい水蒸気が急速に冷やされて水滴になること）することがあります。カード挿入部のふたは開けないでください。レンズが結露した場合は、乾いたやわらかい布でふき取ってください。外部が乾いても内部に結露が残っている場合があります。電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に 1 ～ 2 時間以上置き、乾いてからお使いください。

強い電波や磁気のあるところで使わないでください

- 電波塔の近くや他の電化製品のそばなど、強い電波や磁気のあるところで使用すると、記録や再生が停止したり、映像・画像・音声の記録時に雑音が入ることがあります。また、正常に記録されている映像・画像・音声でも、再生時に雑音が入ることがあります。本機が故障することもあります。

● 保管上のご注意

非常に高温になるところに長時間放置しないでください

- 海岸の砂の上や閉め切った車内、トランク内は、非常に高温になります。そのような場所に置いたままにすると、本機が故障したり、本体が変形したりするおそれがあります。また、直射日光が当たるところ、熱器具の近く、火のそばにも置かないでください。
- バッテリーパックは、本機から取り外して涼しいところで保管してください。取り付けたままにしたり、高温のところで保管すると、バッテリーパックの寿命を縮める原因となります。

湿気やほこりの多いところで保管しないでください

- 本機の内部にほこりが入ると、故障の原因となります。また、湿気が多いと、レンズにカビが生えて使えなくなることがあります。押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に箱に入れることをおすすめします。

強力な磁気や激しい振動のあるところに置かないでください

- 故障の原因となります。

● お手入れのしかた

本機のお手入れをするときは、必ず電源を切ってください。

液晶モニターやカメラ部のレンズの汚れは

- 乾いたやわらかい布などでふき取ってください。液晶モニターをふくときには、強く押したり、ひっかいたり、衝撃を与えないようご注意ください。傷ができたり、表示ムラができることがあります。液晶モニターが壊れるおそれもあります。

本体ケースのお手入れをするときは

- 本体ケースに砂ぼこりなど異物がついた状態で強くふいたり硬い繊維などでふくと、本体ケースを傷つけるおそれがあります。
  本体ケースの汚れをふき取る場合は、やわらかい布などを使用し、やさしくふき取るようにしてください。

本体ケースをベンジンやシンナーでふかない

- 本体ケースの塗装がはげたり、変色することがあります。本体ケースの汚れは、やわらかい布などでふき取ってください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

● HDD について

- アクセスランプが点灯しているときは、以下のことをしないでください。
  - 振動衝撃を加える、液晶モニターを開閉する
  - 電源を切断する、バッテリーパックや AC アダプター／チャージャーを外す

  撮影終了後もしばらくアクセスランプが点灯していますので、ご注意ください。

  HDD 使用時、アクセスランプが点灯または点滅しているときに、万一電源を切ってしまった場合は、AC アダプター／チャージャーに接続してから、再度電源を入れ直してください。HDD の修復をします。(P.116)
- 極度な高低温、結露しやすい環境では使用しないでください。

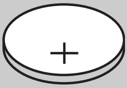
本機や SD メモリーカードを譲渡／ 廃棄するときは

- 本機の機能の「初期化」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、HDD 内のデータは完全には消去されません。そのため、廃棄／譲渡したあとで、重要なデータが流出してしまう可能性があります。

  データの流出を回避するには、以下の方法でＨＤＤの完全消去を実行してください。
  1. ［見る］を押したあと、[メニュー] を押す
  2. [⏮] ／ [⏭] を押して「HDD 設定」を選び、[▶▶] を押す
  3. [⏮] ／ [⏭] を押して「完全消去」を選び、[決定] を押す
  4. [◀◀] で「はい」を選び、[決定] を押して完全消去を開始する
- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。譲渡／ 廃棄の際は、SD メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。記録したデータはお客様の責任において管理してください。
- 万一、個人データが漏えいした場合、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために
→ 2 ページもあわせてお読みください。

危険

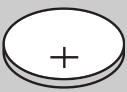
リチウム電池の取り扱いに注意する 	リチウム電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。 ・ 火や水の中に投入しない ・ 火に近づけたり、加熱しない ・ ショートさせない ・ 鍵などの金属物と接触させない ・ 分解・改造しない ・ 衝撃を与えない ・ 高温場所（60 ℃以上）で使用しない 万一液漏れしたときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。	
バッテリーパックの取り扱いに注意する	発熱・破裂・火災・液漏れなどの原因となるので、バッテリーパックを取り扱う際には、次のことを守ってください。 火のそばや炎天下で充電しない 指定外のバッテリーパックを使用しない （専用バッテリーパック　型名：DZ-BP14S ／ DZ-BP14SJ ／ DZ-BP21SJ）	

警告

異常なときは使わない	煙が出ている、変なにおいがするなど異常なときは、ただちに使用を中止し、バッテリーパックや AC アダプター／チャージャーなどの電源を外してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。修理については、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから、絶対にお止めください。 本機を落としたりして強い衝撃を与えると、ケースが破損し、異常な状態になることがあります。	 
分解・改造しない、カバーを開けない	本機・AC アダプター／チャージャーを分解・改造すると、火災や感電の原因となります。カバーの内部には、電圧の高い危険な部分もあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。	
電源を入れたまま、長時間直接肌に触れて使用しない	長時間直接本機に触れていると、低温やけどになることがあります。そのような場合は、ただちに使用を中止してください。	

⚠ 警告

内部に異物を入れない	本機・AC アダプター／チャージャーの内部に水や金属類、燃えやすいものを入れないでください。火災や感電の原因となります。万一異物が内部に入った場合は、すぐに使用を中止し、バッテリーパックや AC アダプター／チャージャー・電源コードを外して販売店にご相談ください。	禁止
自動車などの運転中は使わない	自動車・オートバイ・自転車などの運転中に撮影や再生をしないでください。交通事故の原因となります。	禁止
歩きながら使うときは、周囲の状況に注意する	歩きながら使用すると、転倒や交通事故の原因となることがあります。また、不安定な場所での撮影は、転倒や転落などにより事故や大けがの原因となります。撮影するときは、周囲の状況に注意を払ってください。	
雷が鳴るときは使わない	屋外で使用中に雷が鳴り出したら、安全のため使用を中止してください。	禁止
AC アダプター／チャージャーを水にぬらさない	風呂場やシャワー室などの水のかかるところで AC アダプター／チャージャーを使用しないでください。火災や感電の原因となります。	風呂、シャワー室での使用禁止
AC アダプター／チャージャーは電源コンセントの近くで使用する	AC アダプター／チャージャーは、電源コンセントの近くで使用してください。タンスの裏や机の下など、手の届きにくいところの電源コンセントには差し込まないでください。	
AC アダプター／チャージャーのケースを破損しない	万一落としたりしてケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。	
AC アダプター／チャージャーは風通しのよい広い所で使用する	AC アダプター／チャージャーは、風通しのよい広い所で使用してください。内部に熱がこもり、ケースが変形するだけでなく、火災・やけど・感電・故障のおそれがあります。周囲の風通しをさえぎるせまい場所や、物の近く、またはその中で使用しないでください。	

電源コードを破損しない	電源コードを破損しないよう、取り扱いの際は、次のことを守ってください。 ・刃物などで傷つけない ・ねじらない　・無理に曲げない ・重いものや角が鋭利なものをのせない ・加熱しない　・引っ張らない ・加工しない　・束ねない ・敷物などでおおわない 万一コードが破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。	禁止
電源プラグは完全に接続する	電源プラグの接続が不完全なまま使用すると、接触不良で発熱し、火災の原因となります。	
たこ足配線をしない	火災の原因となります。	禁止
電源プラグに異物を付着させない	電源プラグにほこりや汚れ、金属などの異物が付着したまま使用すると、発熱し、火災や感電の原因となります。異物が付着したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で異物を取り除いてください。	禁止
市販の電子式変圧器は使わない	海外旅行用に市販されている電子式変圧器に AC アダプター／チャージャーを接続しないでください。火災や感電の原因となります。	禁止
ショルダーストラップを首に巻きつけない	窒息の原因となります。	禁止
同梱品のビニール袋に注意する	同梱品が包装されているビニール袋をかぶると、窒息の原因となります。	
リチウム電池を放置しない 	リチウム電池を取り外したときは、幼児の手の届かないところに保管してください。 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。 廃棄および保管するときは、テープなどで絶縁してください。 リチウム電池の廃棄方法につきましては各自治体により異なります。お住まいの地域の指示に従って廃棄してください。	

⚠ 注意

バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトは正しく取り付ける	取り付けかたが不完全なまま使用すると、落下などにより、けがの原因となることがあります。	
水にぬらさない	本機に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。故障の原因となります。雨天時、降雪時、海岸や水辺での使用時には、特にご注意ください。	水ぬれ禁止
レンズを太陽光に向けない	レンズを太陽光に向けたままにしておくと、集光により発熱し、火災の原因となることがあります。	禁止
航空機の中では使わない	航空機の中など、使用を制限または禁止されているところでは使用しないでください。本機の出す電磁波により、航空機の計器類に影響を及ぼすことがあります。	
不安定な場所で三脚を使わない	倒れてけがの原因となります。	禁止
三脚を付けたまま持ち運ばない	持ち運んでいるときの振動や衝撃により、三脚のねじがゆるんで本機が落下し、けがの原因となることがあります。	禁止
かゆみ・かぶれ・湿疹などに注意する	製品や同梱品の材質には充分な配慮をしておりますが、お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じることがあります。そのような場合は、ただちに使用を止め医師の診断を受けてください。	
本機およびバッテリーパックを落とさない、ぶつけない	ガラス部分が壊れ、けがの原因となることがあります。またバッテリーパックが破損すると、液漏れにより、けがや周囲の汚損の原因となります。 万一、バッテリーパックが変形、破損した場合は、使用を中止してください。	禁止
電源コードや接続ケーブルに注意する	電源コードや接続ケーブルに足を引っ掛けると、転倒したりけがの原因となることがあります。	

カードの取り出しに注意する	カードやバッテリーパックは、長時間使用すると高温になります。電源を切って十分時間が経ってから取り出すようにしてください。	
電源コードを引っ張って抜かない	コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。	禁止
ぬれた手でプラグの抜き差しをしない	ACアダプター／チャージャーのプラグを抜き差しするときは、ぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。	ぬれ手禁止
本機、バッテリーパック、電源コードを熱器具に近づけない	機器表面や部品が劣化するほか、火災や感電の原因になることがあります。	禁止
長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントにつないだまま長期間放置すると、火災の原因となることがあります。	
ACアダプター／チャージャーを振動の多いところに置かない	振動によって内部部品が破損すると、発熱し、火災や故障の原因となることがあります。	禁止
ACアダプター／チャージャーをほこりや湿気の多いところに置かない	内部にほこりや水分が入ると、火災や感電の原因となることがあります。	禁止
ACアダプター／チャージャーを油煙や湿気の当たるところに置かない	調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。	禁止

注意

リチウム電池の向きに注意する	リモコンに電池を入れるときは、極性に注意してください。向きを間違えて入れると、電池の破裂や液漏れを招き、火災やけが、やけどなどの原因となります。 万一液漏れしたときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。	+
バッテリーパックの保管場所に気をつける	直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。	
リチウム電池に直接ハンダ付けしない	火災や感電の原因となることがあります。	禁止
ビデオフラッシュを人の目の前に近づけて使用しない	目の近くで発光させると視力障害を起こす危険があります。 特に、乳幼児を撮影するときには 1m 以上離れてください。	禁止
自動車内の運転者に向けてビデオフラッシュを使用しない	運転者に向けてビデオフラッシュを使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因になります。	禁止
ビデオフラッシュの発光部分をさわらない	ビデオフラッシュ発光部分を手で覆ったまま発光させないでください。やけどの原因となります。	禁止
本機や AC アダプター／チャージャーを布でおおったりしない	放熱効果が下がり、オーバーヒートの原因になります。	禁止
バッテリーパックを押しつぶしたり、たたいたり、強い圧力をかけない	バッテリーパックの内部に電気的なショートが発生し、オーバーヒートの原因になります。	禁止
バッテリーパックの端子をショートさせない	取り外したバッテリーパックの端子（金属部分）がショートしないように、ネックレス、クリップ、コイン、鍵などが触れないようにしてください。 バッテリーパックの内部に電気的なショートが発生し、オーバーヒートの原因になります。	禁止

日立ハードディスクカメラ（DZ-HD90）で使われる ソフトウェアのライセンス情報

日立ビデオカメラに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに日立または第三者の著作権が存在します。

日立ビデオカメラには、日立自身が開発または作成したソフトウェアモジュールも含んでいますが、これらのソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント等には、日立の所有権および知的財産権が存在します。これらについては、著作権法その他の法律により保護されています。

また、日立ビデオカメラは、米国 Free Software Foundation, Inc. が定めた GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 及び GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1（以下「ソフトウェア使用許諾契約書」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールに関しては、下記表を参照して下さい。また、対象となるソフトウェアモジュールに関するお問い合わせについては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス　http://av.hitachi.co.jp/cam/linux/index.html

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、後に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書（別紙）をお読みください（日立以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を掲載いたします。）。

当該ソフトウェアモジュールについては、日立以外に、別途著作権者その他の権利を有する者がおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証（明示するもの、しないものを問いません。）をしないものとします。また、当社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害（データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインタフェースの不適合化等も含まれます。）についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

対象ソフトウェアモジュール	関連ソフトウェア使用許諾契約書
Linux Kernel busybox libgcc lzo U-Boot	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2
glibc	GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1

日立ハードディスクカメラ（DZ-HD90）で使われる フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simulta-

日立ハードディスクカメラ（DZ-HD90）で使われる フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）（つづき）

neously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright© <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright© year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

日立ハードディスクカメラ（DZ-HD90）で使われる フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）（つづき）

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries-of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing nonfree programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition fi les, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If dentifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under

日立ハードディスクカメラ（DZ-HD90）で使われる フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文 (英文)（つづき）

the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header fi le that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you

日立ハードディスクカメラ（DZ-HD90）で使われる フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）（つづき）

have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each fi le should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright© <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

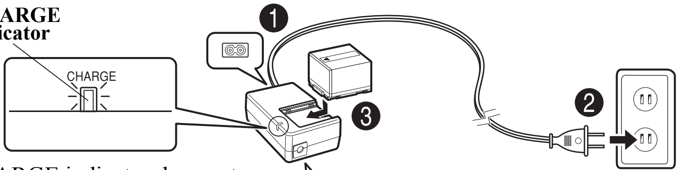
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

■ Setting up the battery pack

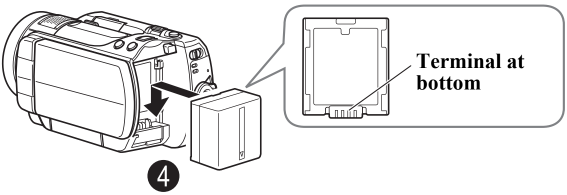
Charging status	CHARGE indicator
During charge	Lit
Charge complete	Unlit



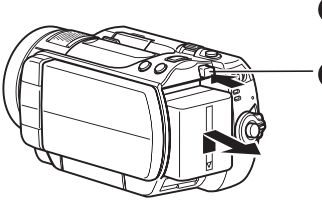
If the CHARGE indicator does not light, check that the connections (1, 2, and 3) are firmly made.

Note
Charging will not occur if the DC power cord is connected.

4 **After charging is complete, attach the battery pack to the camcorder.**



■ Removing the battery pack

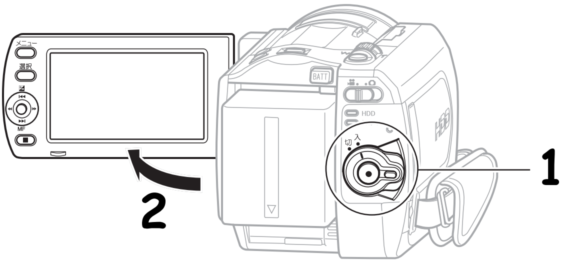


1 **Always turn the power off before disconnecting the power supply.**

2 **While pressing and holding the BATT switch, slide the battery pack upward, then remove it.**

- Be careful not to drop the battery pack while detaching it.

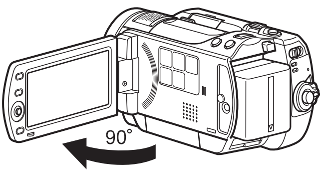
Turning on the Power



1 **Turn on the power.**

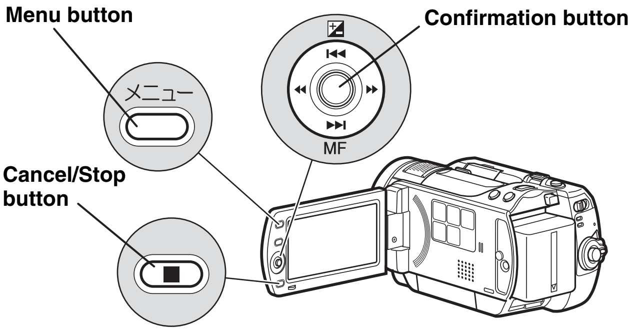


2 **Open the LCD monitor.**

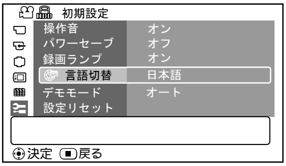


Changing the display language (LANGUAGE)

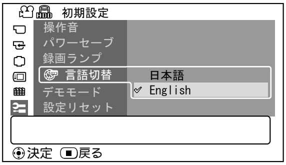
You can change the language used on screens and menus.
The following shows how to change from Japanese to English.



1 **Press the menu button, then select " 初期設定 " by pressing ⏮/⏭. Then, press ⏩ (or the confirmation button).**



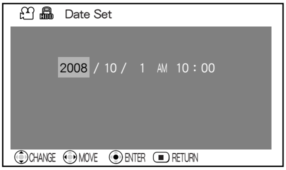
2 **Select " 言語切替 " by pressing ⏮/⏭, then press ⏩ (or the confirmation button).**



3 **Select "English" by pressing ⏭, then press the confirmation button.**

Setting the Date and Time

❶ **Press the menu button, then select "Date Setup" by pressing ⏮/⏭. Then, press ▶▶ to select "Date Set" and press the confirmation button again.**

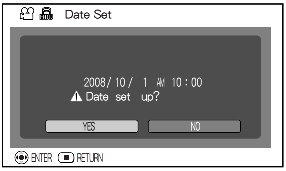


❷ **Select each item by pressing ◀◀/▶▶ and set the correct value by pressing ⏮/⏭.**

- Repeat this step until year, month, date, hour, minute, and AM/PM are correctly set.

❸ **Press the confirmation button.**

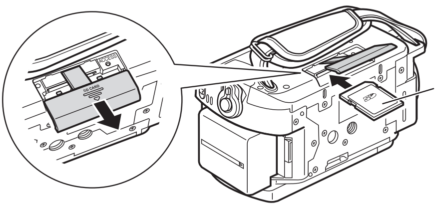
The confirmation screen appears.



❹ **Press ◀◀ to select "YES", then press the confirmation button to confirm.**

- If you select "No" and press the confirmation button, the screen returns to step ❷.

Inserting and Removing Card (When recording still pictures)



Label side
Insert the card with the label side face up.

❶ **Always turn off the power before inserting a card.**

❷ **Open the cover.**

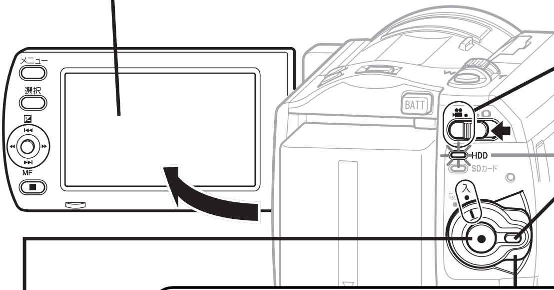
❸ **Push the card in until it clicks into place.**
(To remove the card, push it in slightly and release. The card will pop up, and you can remove it.)

❹ **Always close the cover.**

Recording Movies

1 Slide the Movie/Stills switch to "🎥".

2 Open the LCD monitor.



Press and hold the lock button, and turn the power switch to " 入 ".

3 Turn the power switch to " 入 ".

The HDD indicator lights and the camcorder enters recording pause mode. Movies will be recorded to HDD.

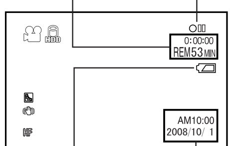
4 Press the record button.

- "●II" (recording pause) in the LCD monitor will change to "● REC" and recording will begin.
  The recording indicator beneath the lens will also light up red.
- To pause recording, press the record button again. The elapsed recording time will reset to "0:00:00".
- To resume recording, press the record button again.

Elapsed recording time (hrs : mins : secs)

Remaining space on HDD/Card

●II ／ ●REC



Remaining battery level

Current time

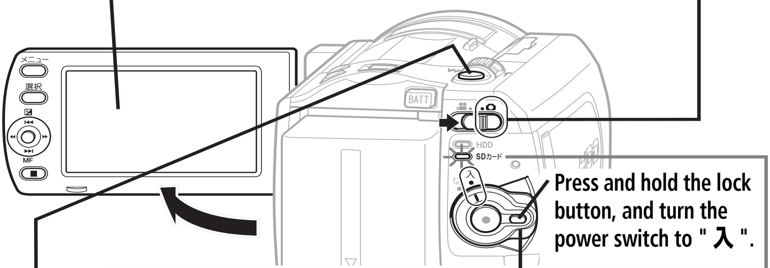
CARD

Recording Still Pictures

Still pictures are recorded on an SD memory Card.

1 Slide the Movie/Stills switch to "📷".

2 Open the LCD monitor.



3 Turn the power switch to " 入 ".

- The SD card indicator lights.
- Switch to " 切 ", to turn off.

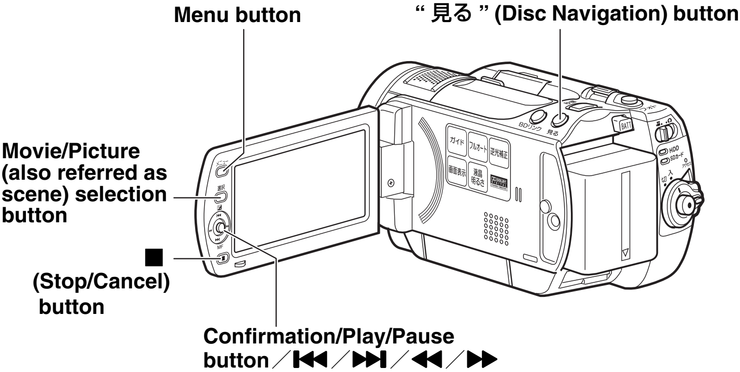
4 Press the "フォト" (photo) button halfway down.

A subject in the center of the screen will be focused. When focus is locked, the green "●II"in the LCD monitor will turn purple.

5 Fully press the "フォト" (photo) button.

The image will be recorded. After a few seconds, the image shot will be displayed for about three seconds. You can shoot the next photo when "●II" changes back to green.

Playback



HDD **CARD**

■ Choosing and playing back a scene

❶ **Press the “ 見る ” button while the media you want to play back is in recording pause mode.**
The scenes thumbnails appear on the disc navigation screen.

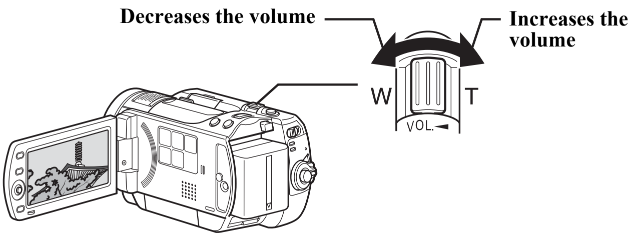
❷ **Choose a scene by pressing ⏮/⏭ (up/down, previous page/following page) and ◀◀/▶▶ (left/right).**

❸ **Press the confirmation button.**
The chosen scene is played back.

- To promptly return to the disc navigation screen, press ■ or the “ 見る ” button. To return to recording pause mode, press ■ or the “ 見る ” button again.

HDD

■ Adjusting speaker volume during movie playback



Useful Recording Techniques

HDD CARD

Magnified Recording (Optical Zoom and Digital Zoom)

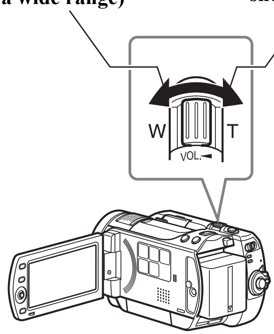
The zoom lever allows you to choose a range of magnifications from wide-angle to telephoto zooming.

Optical zooming up to ten times is the maximum telephoto magnification. When using a card (recording stills), only optical zoom works.
Maximum zoom values will depend on the "Digital Zoom" settings.

off → 40 × → 240 ×

W:Wide-angle (Shooting over a wide range)

T:Telephoto (Magnifies shooting)



HDD CARD

Selecting a Shooting Mode to Match the Conditions (Program AE)

The camcorder automatically gauges the subject and surrounding conditions and determines the optimal settings for recording (Auto). You can also select a shooting mode that may better suit the situation.

Shooting mode

Auto (No icon appears.)

Portrait
Makes the subject, such as a person or pet, stand out from a blurred background.

Spotlight
Prevents overexposure of the subject in strong light, such as at a wedding or on stage.

Sand&Snow
Prevents underexposure of the subject in very bright conditions, such as at the beach, or on a ski slope.

Low Light
Allows you to record in dark places with limited light.

Selecting a shooting mode

1	**During record pause, press the menu button.**
2	**Select "Camera Functions Setup" ▶ "Program AE" ▶ a shooting mode.**
3	**Press the confirmation button to confirm, then the menu button to end.** The selected shooting mode (other than Auto) appears in the LCD monitor. • The shooting mode is retained in memory even when the power is turned off.

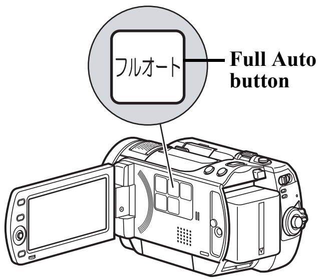
Note
When shooting in dark places, after-images may appear if the subject is moving or if camera shake occurs. Use a tripod for best results.

HDD CARD

Restoring all the Shooting Settings to Default (Full Auto)

You can reset the following manually adjusted shooting settings to their defaults with the press of a single button.

Function	Default
Focus	Auto
Exposure	Auto
BLC (Backlight)	Off
Program AE (shooting mode)	Auto
White Balance	Auto
EIS (Electronic Image Stabilizer)	On
Microphone Filter	Off



1	**During recording pause or recording, press the Full Auto button.** “FULL AUTO” appears in the LCD monitor for a moment and the settings return to their defaults.

システムリセット

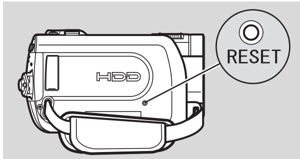
本機が正常に動作しないときは、システムリセットをすると、回復することがあります。システムリセットをすると、すべての設定値が工場出荷時の状態に戻り、日付もリセットされます。使用開始前に日付を設定しなおしてください。

1 電源を切る

電源スイッチを「切」に合わせてください。
バッテリーパック、AC アダプター／チャージャーも外します。

2 先の細いペンなどで RESET ボタンを数秒間押す

システムがリセットされます。



ご注意

- RESET ボタンは強く押さないでください。

● 設定項目一覧

	設定項目	お買い上げ時の設定	設定方法
カメラ機能設定	プログラム AE	オート	P.54
	ホワイトバランス	オート	P.55
	手ブレ補正	オン	P.56
	デジタルズーム	40x	P.49
	マイクフィルター	オフ	P.57
	フラッシュ	オート	P.58
	撮影ガイドライン	オフ	P.57
記録機能設定	HD 動画画質	HX	P.60
	ワイドモード	ノーマル (4：3)	P.60
	セルフタイマー	オフ	P.61
出力機能設定	コンポーネント出力設定	D3	P.80
液晶設定	液晶調節	< >	P.47
日付機能設定	日付設定	2008 ／ 1 ／ 1 AM 0:00	P.20
	表示モード	年／月／日	P.47
初期設定	操作音	オン	P.47
	パワーセーブ	オフ	P.47
	録画ランプ	オン	P.59
	言語切替	日本語	P.47
	デモモード	オート	P.48

※ 使用するメディアによっては表示されない項目もあります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）	保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。 保証期間は、お買い上げ日から 1 年です。
補修用性能部品の保有期間	当社はこのハードディスクカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。 当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
ご不明な点や修理に関するご相談は	修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の「ご相談窓口」にお問い合わせください。
転居されるときは	ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。
修理を依頼されるときは（持込修理）	本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」(P.122 ～ 127) に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡ください。 保証期間中は保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。 なお、ビデオカメラ本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（記録内容の喪失など）の責については、ご容赦ください。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
品名：ハードディスクカメラ　形名：DZ-HD90
故障の状況：（できるだけ具体的に）

修理料金のしくみ	
技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張費	商品のある場所への技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

主な仕様

撮像素子		1／2.8 型 CMOS センサー 総画素数：約 530 万画素 有効画素数　動　画：約 207 万画素 静止画：約 432 万画素
レンズ		F1.8-3.0 f=5-50mm、10 倍 フィルター径 43mm、ネジピッチ 0.75mm
フォーカス		オートフォーカス／マニュアルフォーカス
ズーム		光学 10 倍／デジタル併用 240 倍（動画モード）、 光学 10 倍（静止画モード）
必要最低照度		オート 15 ルクス（1/30） ローライト 10 ルクス（1/15）
液晶モニター		2.7 型ワイドカラー TFT（約 21.1 万画素）
手ブレ補正方式		電子式
シャッター速度		1/15 ～ 1/2400（動画）
セルフタイマー撮影		あり （カード使用時）
外部マイク端子		ステレオミニジャック φ3.5mm プラグインパワータイプ専用
内蔵 HDD 容量		約 60GB
撮影モード		動画（音声つき）：ハイビジョン画質 (HD) 静止画
動画最大記録時間	HDD	(HX) 約 9 時間／ (HF) 約 12 時間／ (HS) 約 18 時間
静止画最大記録枚数	カード（1GB カード使用の場合）	ワイドモード：ワイド (16：9) → 約 500 枚 ワイドモード：ノーマル (4：3) → 約 400 枚
動画記録画素数		HX：1920 × 1080 HF ／ HS：1440 × 1080
記録可能なカード		SD メモリーカード
記録方式	HDD	MPEG4 AVC/H.264
	カード	静止画：JPEG 規格　2400 × 1800 画素 ワイドモード「ワイド (16：9)」時→ 2400 × 1350 画素 ワイドモード「ノーマル (4：3)」時 → 2400 × 1800 画素 静止画キャプチャー時 →　　1920 × 1080 画素
端子		HDMI ミニ出力端子（Type. C）× 1、 コンポーネントビデオ出力端子 × 1、AV 出力 × 1、 外部マイク入力 × 1、 USB 端子（パソコンの USB 端子へ接続）× 1 eSATA 端子 × 1

バッテリーパックシステム	リチウムイオン
消費電力	液晶モニター「明るい」／ HX モードで録画時 約 5.8W（HDD 使用時）
外形寸法（幅×高×奥行） (グリップベルトを除く、突起部を含む)	約 75 × 69 × 126mm (バッテリーパック DZ-BP14S 使用時)
許容動作温度（湿度）	0 ～ 40 ℃（80%以下） ただしパソコンとの接続時は、0 ～ 30 ℃
許容動作高度（HDD 使用時）	海抜 3000m 以下
本体質量	約 430g (バッテリーパック等含まず)
撮影時総質量	約 500g (バッテリーパック DZ-BP14S 使用時)
付属品	AC アダプター／チャージャー、バッテリーパック、AV ／ S ケーブル、D 端子ケーブル、リモコン、リモコン用リチウム電池、ショルダーストラップ、電源コード、DC パワーコード、USB ケーブル、ソフトウェア CD-ROM、本書、クイックガイド

＊ 本機の仕様は、性能向上のために予告なく変更することがあります。

■ HDD ／カード の記録容量

● HDD の記録時間 *1

記録画質	動画の記録時間	こんなときにお使いください
HX	約 9 時間 *2	高画質
HF	約 12 時間 *3	標準画質
HS	約 18 時間 *4	長時間

*1 連続録画時間が 10 時間になると、自動で録画を一時停止し、1 分ほどたってから、自動で録画を再開します。（一時停止中のシーンは録画されません。）その結果、連続で 10 時間以上録画したシーンは、1 回の録画で複数のサムネイルに分かれて表示されます。

*2 可変ビットレート約 15Mbps（うち、音声 256kbps）

*3 可変ビットレート約 11Mbps（うち、音声 256kbps）

*4 可変ビットレート約 7.5Mbps（うち、音声 256kbps）

ご注意

- 高温の環境で HX モードを使用し記録した場合、HF 相当の画質になることがあります。
- 被写体や撮影環境によっては、記録時間が短くなる場合があります。

● **HDDに記録できる最大シーン数：3999***

* シーンを結合しても、記録可能なシーン数は増えません。結合したシーンがあると、記録できる最大シーン数と一致しないことがあります。

● **HDDに記録できる最大日付数：999**

● **静止画の記録枚数（カード）**

容量 / ワイドモード	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
ノーマル（4：3）	約10枚	約24枚	約50枚	約100枚	約200枚	約400枚	約800枚
ワイド（16：9）	約15枚	約30枚	約60枚	約120枚	約250枚	約500枚	約1000枚

● **静止画のファイルサイズについて**

カードをお使いのときの静止画（JPEG）1枚のファイルサイズは以下の通りです。

ワイドモード	ファイルサイズ
ノーマル（4：3）	約2.4MB
ワイド（16：9）	約1.8MB

ご注意

HDDには、静止画は記録できません。

■ ディスクのダビング時間（ライター使用時）

1枚のBD-RE／BD-R／DVD-R（片面）にダビングできる長さは下記のとおりです。

ディスクの種類	画質	ダビング可能時間
BD-RE BD-R	HX	約3時間
	HF	約4時間
	HS	約6時間
DVD-R	SX	約1時間
	SF	約1時間30分

用語集

● 1080i（1125i）／ 480i（525i）
映像信号の種類です。1080i はハイビジョン画質の信号、480i は従来のハイビジョンではない画質の信号のことです。機器によっては 1080i を 1125i、480i を 525i と表記する場合があります。

● HDMI 出力端子
テレビとカメラをつなぐ端子です。
HDMI 出力端子で接続した場合、コンポーネントビデオ出力端子よりもさらに美しい映像をテレビでみることができます。

● D 映像端子
本機のコンポーネントビデオ出力端子とつなぐテレビの端子です。
付属の D 端子ケーブルで接続した場合、S 映像端子／映像端子よりもさらに美しい映像をテレビでみることができます。
D 端子には D5 ～ D1 の5種類あり、下記の信号に対応しています。
D5 端子：1080p, 720p, 1080i, 480p, 480i に対応
D4端子：720p, 1080i, 480p, 480iに対応
D3 端子：1080i, 480p, 480i に対応
D2 端子：480p, 480i に対応
D1 端子：480i に対応
本機は D3(1080i) と D1(480i) の出力に対応しており、D5 ～ D3 対応のテレビでは 1080i で、D2 ～ D1 対応のテレビでは 480i で表示することができます。

● HD 動画画質・HD 画質
ハイビジョン画質のことです。HD とは High Definition の略です。

● NTSC
カラーテレビ方式の規格。
アメリカ、日本や台湾、韓国、フィリピン、中南米などで使われています。

● PAL
カラーテレビ方式の規格。
ヨーロッパや中国などで使われています。

● SD 動画画質・SD 画質
ハイビジョンではない標準画質のことです。SD とは Standard Definition の略です。

● SD メモリーカード
映像を記録できるメモリーカードの規格のひとつ。本機では SD メモリーカードに静止画を撮影できます。

● コンポーネントビデオ出力端子
テレビとカメラをつなぐ端子です。
コンポーネント映像信号を付属の D 端子ケーブルで簡単に接続でき、走査線数、アスペクト比の制御信号も伝送することができます。

● ハウリング
カメラをテレビやスピーカーにつないだときに、音が響いてしまう現象のこと。
カメラをテレビやスピーカーから離すか、つないでいる機器の音量を切ると、ハウリングを起こしません。

● フォーマット
記録する機器、ディスクを初期化すること。また、その初期化された形式のことです。

索引

索引の見かた

見出し言語と同一のものは「～」で省略してあります。

その他

ータ行ー

ーハ行ー

―マ行―

―ラ行―

―ワ行―

同梱の CD-ROM の開封前に必ずお読みください

本契約は、本製品に同梱されている CD-ROM のパッケージの開封によってご同意いただいたものとさせていただきます。
本契約にご同意いただけない場合には、ただちに未開封の記録媒体のパッケージと同封物（印刷物、外装パッケージ、その他一切のもの）をお買い上げの販売店にご返却いただくか、記録媒体のパッケージのみをお買い上げの販売店にご返却ください。
未使用の製品についての代金の返還手続きに関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。ただし記録媒体のパッケージのみご返却の場合は、代金の返還には応じません。

この使用許諾契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明となります。

■ 使用許諾契約書

■許諾事項

・ お客様に本プログラムを 1 台のコンピュータにインストールして利用する権利を非独占的に許諾いたしますが、この権利を第三者に譲渡することはできません。
・ 本プログラムは、バックアップの目的でのみ、著作権に関する表示が元の状態のまま残されることを条件に、コンピュータ読み取り可能な形態でプログラムを 1 部複製できます。

■禁止事項

・ 本プログラムをネットワーク上で使用することはできません。ネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合は、別途、株式会社ピクセラからコンピュータごとの使用権を取得することが必要です。
・ お客様は、本プログラムを再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
・ お客様は、本プログラムおよび付属物の全部または一部を修正、改変、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。または第三者にこのような行為をさせてはなりません。

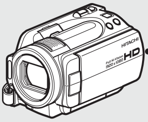
■契約の終了

お客様が、本プログラムまたは付属物を許可なく複製したり、上記許諾条件に違反した場合には、本契約は自動的に終了するほか、株式会社ピクセラにより他の法的な措置がとられることがあります。契約終了の場合、お客様は、本プログラム、付属物、複製物一切を廃棄または株式会社ピクセラに返還するものとします。

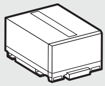
■保証と免責

本プログラムおよび付属物は、明示黙示を問わず、商品性、お客様の特定の使用目的への適合性と合致するものではありません。また、株式会社ピクセラは、本プログラムの機能がお客様の要求と合致すること、あるいは本プログラムの作動に中断やエラーのないことを保証するものではありません。株式会社ピクセラは、本プログラムの使用に付随または関連して生じる直接的または間接的な損失、損害などについて、いかなる場合においても一切責任を負わず、また本プログラムの使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

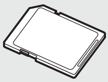
お出かけ前に機材のチェック



試し撮りをしてからお出かけください。



十分充電されていますか？
予備をお持ちの方は、撮影時間に応じた本数をお持ちください。
(P.26)



空き容量は十分ですか？
- **HDD**　記録時間：約 9 時間（HX モード）
- **カード**（1GB）　記録枚数：約 400 枚（ワイドモード「ノーマル（4：3）」）

※ 記録時間や枚数は目安です。
記録画質や被写体の状況などにより変わります (P.161)。

あると便利
- AC アダプター／チャージャー
- 電源コード
- DC パワーコード

コンセントから電源をとったり、バッテリーパックの充電ができます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的とされていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Microsoft®、Windows®、Windows® XP、Windows Vista® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
Macintosh は Apple Inc. の商標です。
Intel® Pentium® Processor は、Intel Corporation の登録商標です。
Intel® Core は Intel Corporation の商標です。
IBM® PC ／ AT®（DOS ／ V）は米国 IBM 社の登録商標です。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
SD ロゴは商標です。
HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標又は登録商標です。
Blu-ray Disc および Blu-ray Disc ロゴは商標です。
その他、各会社名・各製品名は各社の登録商標、商標、または商品名称です。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

- 持込修理および部品購入については、下記エコーセンターまたはお客様相談センターにて、各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

修理などアフターサービスに関するご相談はエコーセンターへ

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87
(受付時間) 9:00~19:00 (365日)

ハードディスクカメラ商品情報

http://av.hitachi.co.jp/cam/

ハードディスクカメラパソコンソフトサポート情報

HITACHI Camcorder PC Software Support Center in English and French.
http://dvdcam-pc.support.hitachi.ca/
(日本語で表示されていない場合、ページ右上の日本語ボタンをクリックしてください。)

ユーザー登録のお願い

今後のサービスなど、お客様に大切なご案内をさせていただく場合がございますので、インターネットよりユーザー登録にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。
http://av.hitachi.co.jp/

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34
(受付時間) 9:00~17:30 (月~土)、9:00~17:00 (日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

ImageMixerソフトウェアに関するお問い合わせは

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター
TEL　06-6633-3900
FAX　06-6633-2992
(受付時間)　10:00~13:00、14:00~17:00
土、日、祝日およびピクセラ社の休日を除く

ImageMixer以外のパソコンとの接続に関するお問い合わせは

日立マルチメディアインフォメーションセンター
0120-147-226
(受付時間)　9:00~12:00、13:00~17:30
携帯電話、PHSからは、ご利用できません。
土、日、祝日および弊社の休日は休ませていただきます。

愛情点検

長年ご利用のハードディスクカメラの点検をぜひ!

ハードディスクカメラの補修用性能部品の保有期間は、8年です。

このようなことはありませんか?

- 電源コード・プラグが異様に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

▶ 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客さまメモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	電話　(　　)　　-
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製品本体と保証書の製品番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒100-0004　東京都千代田区大手町二丁目2番1号　新大手町ビル

QR74861 ©Hitachi,Ltd.2008　　Printed in Japan OY-H (I)